資料 2

九州横断自動車道延岡線（矢部（やべ）～蘇陽（そよう））
第3回　説明資料

令和4年1月17日

国土交通省　九州地方整備局

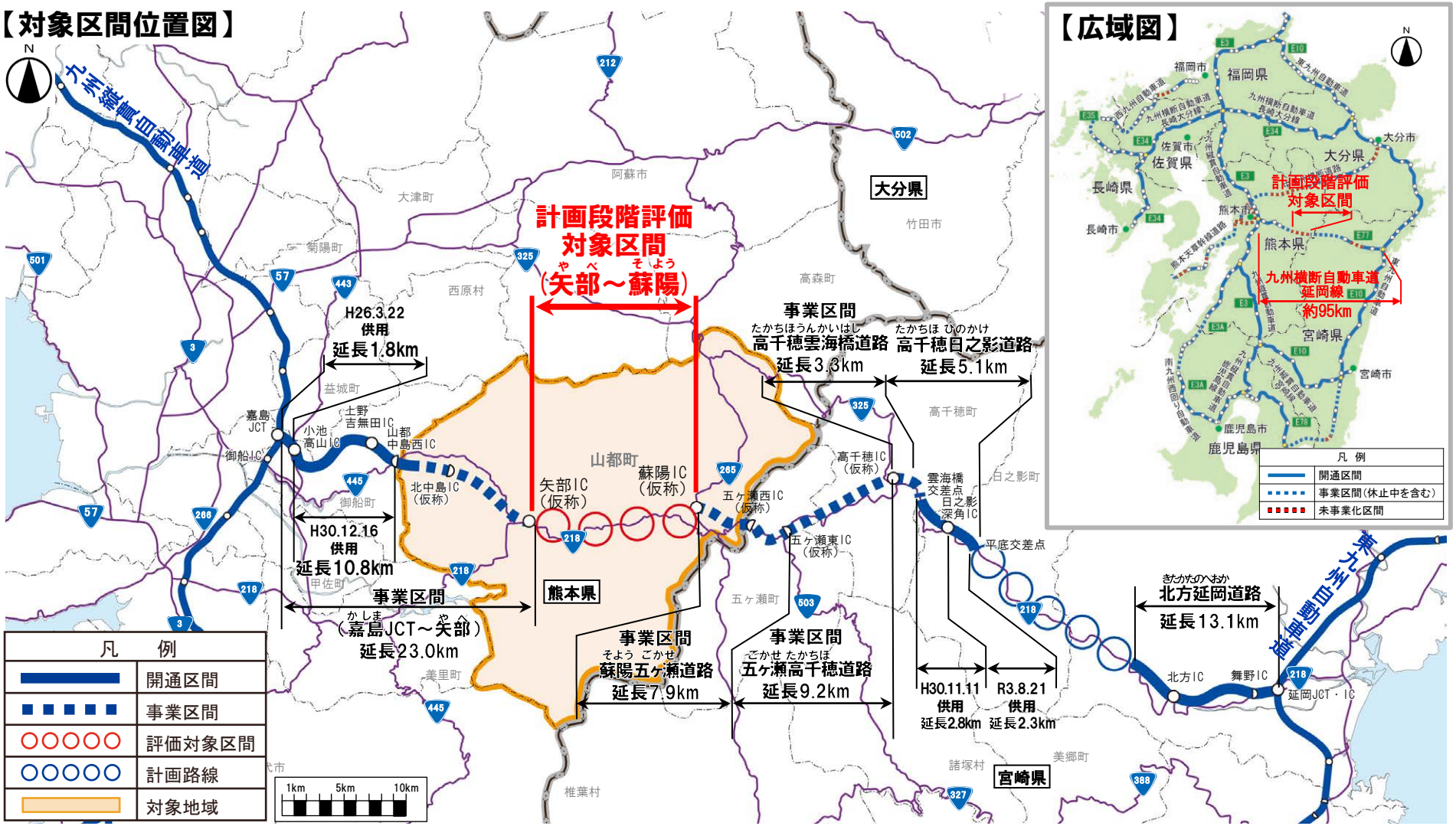
目　　次

１. 前回までの審議内容　・・・　２
２. 第２回意見聴取の概要　・・・　８
３. 第２回意見聴取の結果　・・・１７
４. 対応方針（案）の検討　・・・３５
５. 自治体への意見照会　・・・３９
６. 対応方針（案）まとめ　・・・４１

１．前回までの審議内容

1－1. 九州横断自動車道の進捗

○対象区間は、九州横断軸を構成する<u>九州横断自動車道延岡線の一部</u>です。
○事業区間の「嘉島JCT～矢部」と「蘇陽五ヶ瀬道路」を結ぶ道路であり、<u>熊本県内では唯一計画段階評価が完了していない区間</u>です。



１－２. 計画段階評価手続きの進め方（案）

【令和元年9月11日】

第１回
九州地方小委員会

【審議事項】
◆計画段階評価手続きの進め方
◆地域と道路の課題
◆政策目標（案）
◆地域の意見聴取方法（案）

【令和元年11月～令和2年1月】

意見聴取

◆意見聴取内容
〇地域と道路の課題
〇政策目標（案）

◆意見聴取方法
《ヒアリング、オープンハウス、アンケート》
対象者：沿線自治体
団体代表者
地域住民
企業等

【令和3年9月13日】

第２回
九州地方小委員会

【審議事項】
◆地域から聴取した意見内容の確認
◆政策目標の設定
◆複数案の設定
◆評価項目の設定
◆複数案の比較評価
◆地域の意見聴取方法（案）

【令和3年9月～12月】

意見聴取

◆意見聴取内容
〇対策方針（複数案）の検討に際し重視する項目

◆意見聴取方法
《ヒアリング、オープンハウス、アンケート》
対象者：沿線自治体
団体代表者
地域住民
企業等

今回
【令和4年1月17日】

第３回
九州地方小委員会

【審議事項】
◆地域から聴取した意見内容の確認
◆地域等の意見を踏まえた対応方針（案）

対応方針の決定（概略ルート、構造）

地　方　小　委　員　会

1－3. 前回審議内容＜九州地方小委員会（2回目）＞

●社会資本整備審議会　道路分科会　九州地方小委員会(2回目)の概要

■実施日：令和3年9月13日（月）
■主な議題
①地域から聴取した意見内容の確認
②政策目標の設定
③複数案の設定
④評価項目の設定
⑤複数案の比較評価
⑥地域の意見聴取方法（案）

●九州地方小委員会（２回目）での審議結果

指摘事項	対応状況
・今後の意見聴取については、各ルート帯案の考え方がよく伝わるように、分かりやすい表現等を工夫して頂きたい。	・各ルート帯案の特徴や具体的な位置関係をアンケート調査票に追記し、各ルート帯案の考え方がよく伝わるように工夫した。 〇対応状況 （案1のルート帯案のポイント抜粋） 【修正前】中間ICの設置を想定しているが、国道218号や集落・産業施設から離れており、アクセスに時間を要する。 【修正後】山間部を通過し、国道218号沿線の集落・産業施設から離れた場所(約1．5km～3km)に中間ICを設置することが想定されるため、アクセスに時間を要する。 （案2のルート帯案のポイント抜粋） 【修正前】中間ICの設置を想定しているため、国道218号や集落・産業施設からのアクセス性が高い。 【修正後】概ね国道218号沿線を通過し、沿線の集落・産業施設から近接した場所(概ね数百m)に中間ICを設置することが想定されるため、アクセス性が高い。
・広域的な視点から幅広く意見聴取する方法として、webモニター調査の活用等も検討して頂きたい。	・事務所HP等からのWEBアンケートや留置きに加え、WEBモニターを活用し、広域的な視点からより幅広く意見を聴取した。

1－4. 政策目標の設定

■政策目標の設定

■地域の現状と課題や将来像等を踏まえ、5つの政策目標を設定しこれらの目標を達成するための対策案を検討。

地域の現状と課題

道路・交通の現状と課題

地域の将来像

政策目標
1. 走行性の確保や安全性の向上による安心した暮らしの支援
2. 速達性、走行性の向上による救急医療活動の支援
3. 速達性、走行性、安全性の向上による産業の活性化支援
4. 速達性、定時性の確保による観光振興の支援
5. 災害時に機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築

■対策案の検討

【暮らし】
走行性の確保や安全性の向上による安心した暮らしの支援

【医　療】
速達性、走行性の向上による救急医療活動の支援

【物　流】
速達性、走行性、安全性の向上による産業の活性化支援

【観　光】
速達性、定時性の確保による観光振興の支援

【防　災】
災害時に機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築

基本コンセプト：災害時に機能する信頼性の高いネットワークを構築するとともに、熊本市方面や延岡市方面への走行性、速達性の向上や定時性の確保を図り、産業の活性化や観光の振興、生活利便性の向上、救急医療活動の支援を目指す。

○対策案を検討する上でのその他の配慮事項

【生活環境、自然環境の保全と調和】

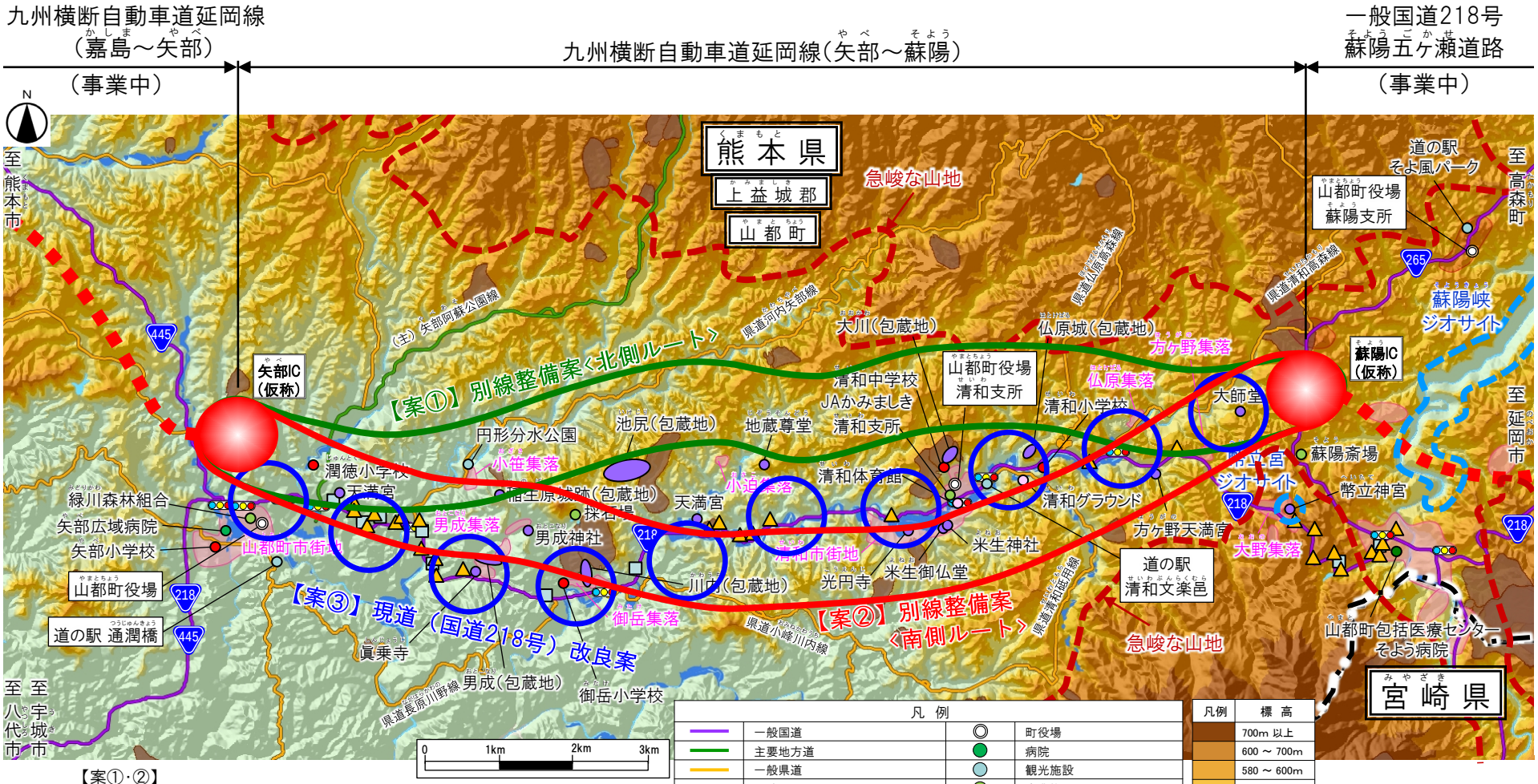
【沿道利用、周辺家屋への配慮】

【施工性、段階的な整備効果】【経済性への配慮】

既存の道路ストック活用や別線整備等の対策案を検討

1－5．複数案の設定＜ルート帯案の概要＞

・【案①】別線整備案＜北側ルート＞：最短ルートを基本に全線別線で整備し、走行性、速達性の向上を図る案
・【案②】別線整備案＜南側ルート＞：集落や産業施設にアクセスしながら全線別線で整備し、走行性、速達性の向上を図る案
・【案③】現道（国道218号）改良案：国道218号の線形不良箇所を改良し、走行性、速達性の向上を図る案



【案①・②】
※接続する道路は国道または県道を想定
※道路構造は、切土・盛土を基本とし、河川、国道等を跨ぐ区域は橋梁、標高が高い区域はトンネルを想定
【案③】
※道路構造は、山側への拡幅を基本とし、標高が高い区域の別線整備箇所はトンネルを想定

2．第2回意見聴取の概要

２－１．第2回意見聴取の概要

■意見聴取は、自治体・団体・企業ヒアリング、地域住民アンケート及びオープンハウスなど、以下の内容を実施した。

■意見聴取期間

令和3年9月17日（金）～令和3年12月17日（金）

■意見聴取の実施状況

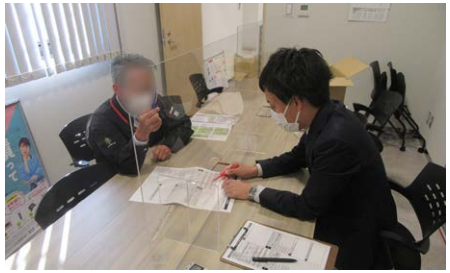
対象	意見聴取方法	実施期間	対象の詳細	回収状況	
自治体	ヒアリング	令和3年9月17日（金） ～令和3年12月17日（金）	熊本県、宮崎県、山都町、五ヶ瀬町、高千穂町	5自治体	全118票
団体等			トラック協会、バス協会、タクシー協会、商工会、 消防署、農協、観光協会　等	23団体	
企業			製造業、運輸・郵便業、卸売・小売業、 宿泊・飲食サービス業、医療・福祉　等	95社	
地域住民 ・ 広域的な 道路利用者	アンケート	令和3年9月17日（金） ～令和3年11月30日（火）	山都町　6,452戸、五ヶ瀬町　1,295戸 高千穂町　4,978戸　　（合計　約12,725戸）	6,617票 （はがき　6,441票 WEB回答　176票）	全7,938票
	オープン ハウス	【休日】:4日間 令和3年10月2日（土） ～令和3年10月3日（日） 令和3年10月9日（土） ～令和3年10月10日（日） 【平日】:5日間 令和3年10月4日(月) ～令和3年10月8日（金）	計10箇所 【平日】:5箇所 ・山都町役場本庁 ・山都町役場清和支所 ・山都町役場蘇陽支所 ・五ヶ瀬町役場 ・高千穂町役場 【休日】:5箇所 ・道の駅「通潤橋」 ・道の駅「清和文楽邑」 ・道の駅「そよ風パーク」 ・道の駅「高千穂」 ・特産センター五ヶ瀬	796票	
	留置き ・ HP等	令和3年9月17日（金） ～令和3年11月30日（火）	・山都町：道の駅「通潤橋」、道の駅「清和文楽邑」、 道の駅「そよ風パーク」 ・五ヶ瀬町：特産センター五ヶ瀬 ・高千穂町：道の駅「高千穂」 ・事務所HP、新聞掲載	125票 （はがき　45票 WEB　80票）	
	WEBモニター 調査	令和3年10月28日（木） ～令和3年11月1日（月）	1年以内に1回以上国道218号（矢部～蘇陽）を 通ったことのある沿線地域（山都町、五ヶ瀬町、高千穂町）を除く九州地方在住の方	400票	

2－2. 第2回意見聴取の実施状況　～ヒアリング～

■ヒアリング実施内容・状況

▲説明用リーフレット

▲調査票



▲実施状況（沿線企業）

▲実施状況（沿線企業）

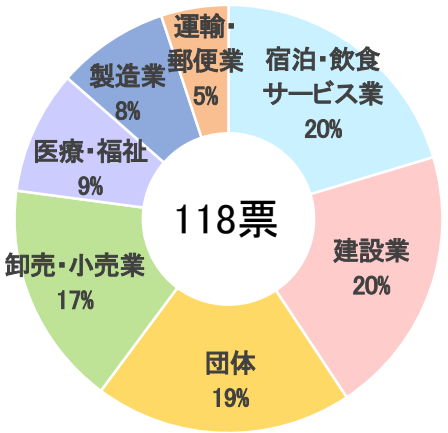
▲実施状況（沿線企業）

▲実施状況（団体）

■回収状況

自治体：		5自治体
団体等・企業：		118票
	団体	23団体
	企業	95社

■ヒアリング実施 団体・企業の内訳



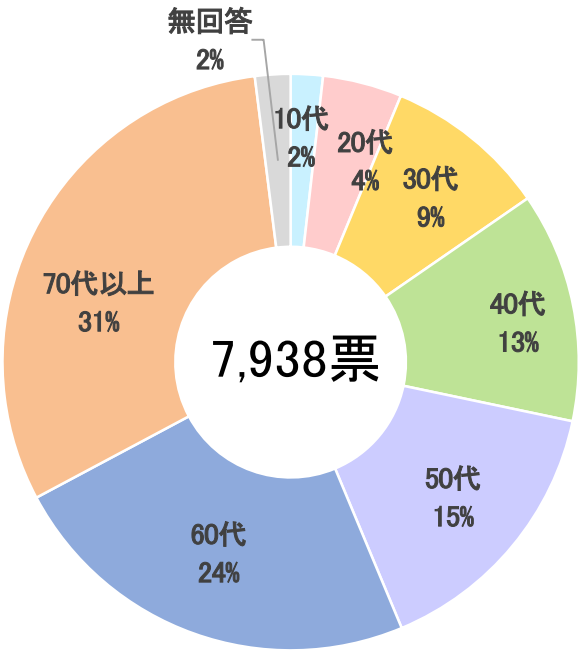
※） 四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある

２－２．第2回意見聴取の実施状況　～住民アンケート・オープンハウス・留置き・WEBアンケート～

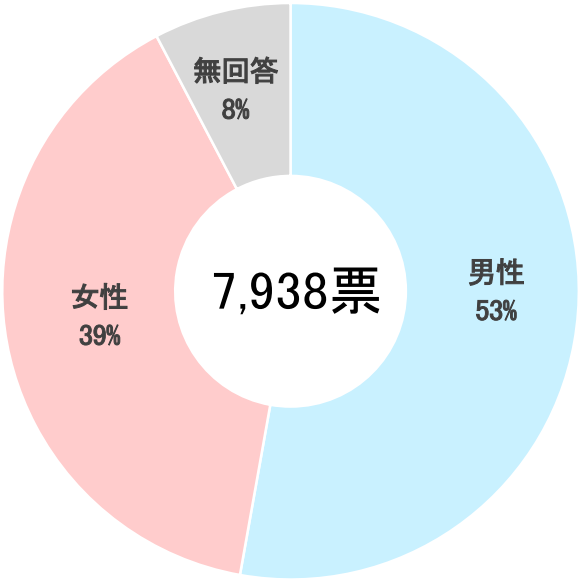
■回収票数は7,938票で、幅広い年代・性別の方から回答をいただいている。
■居住地は、対象地域である山都町、五ヶ瀬町、高千穂町で約9割を占めているほか、九州・本州からの回答者が約1割いる。

■回答者の内訳

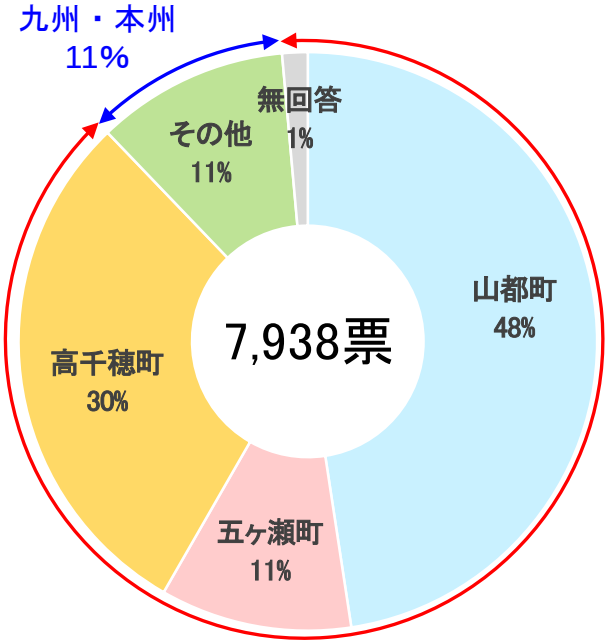
【　年代　】



【　性別　】



【　居住地　】

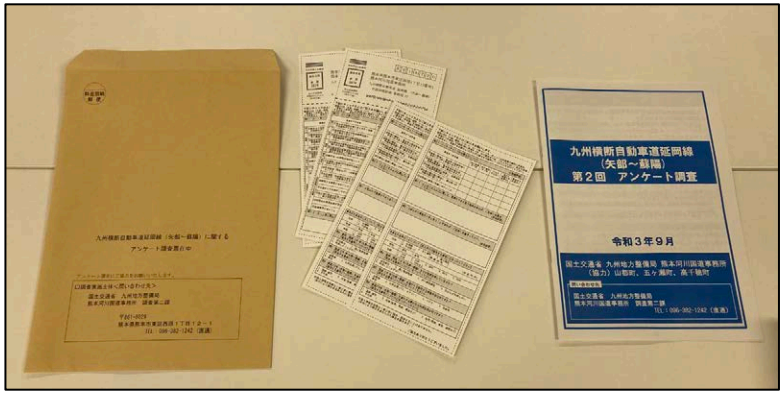


山都町、五ヶ瀬町、高千穂町
89%

※）四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある

2－2. 第2回意見聴取の実施状況　～住民アンケート～

■住民アンケート実施内容



▲郵送物

熊本県熊本市東区西原1丁目12番地1
熊本河川国道事務所
九州横断自動車道 延岡線　（矢部～蘇陽）
計画段階評価　事務局 行

熊本北局
承認
3874

8 6 1-8 7 9 0

下記にチェックおよびご記入をお願いします。　ID　PW

問1-1　ルート帯について　（5段階評価）

	重視すべき事項	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらでもない	あまり重視する必要なし	重視する必要なし
暮らし	①熊本市や延岡市等へ走りやすく事故の危険性が少ないこと					
医療	②熊本市内の第三次救急医療施設へ早く搬送できること					
	③熊本市内の第三次救急医療施設への救急搬送時に患者への負担が少ないこと					
物流	④沿線地域の産業施設から熊本市等の積み替え拠点への輸送時間が短いこと					
	⑤沿線地域の産業施設から熊本市内の物流集積拠点への輸送時に痛みや荷崩れなどが少ないこと					
観光	⑥観光地への移動時間が短いこと					
防災	⑦災害時に国道218号等の代替路として利用できること					
道路整備による影響	⑧生活環境（騒音など）への影響が小さいこと					
	⑨自然環境（動植物が生息する田畑・山地など）への影響が小さいこと					
	⑩移転する家屋が少ないこと					
	⑪沿道からの利用がしやすいこと					
	⑫施工時に現道の交通への影響が少なく、施工期間が短いこと					
	⑬段階的な整備効果が望めること					
	⑭整備費用が安いこと					

問1-2　ルート帯に関して、重視すべきと思う理由があれば、ご自由にお書きください。（自由回答）

⇒裏面に続きます

下記にチェックおよびご記入をお願いします。

問2-1　インターチェンジの位置などについて　（5段階評価）

重視すべき事項	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらでもない	あまり重視する必要なし	重視する必要なし
⑮集落に隣接し、熊本市や延岡市等へ安全にかつ早く移動できること					
⑯集落に隣接し、熊本市等の第三次救急医療施設へ早く搬送できること					
⑰地域の産業施設に隣接し、産業拠点への輸送時間が短いこと					
⑱地域の観光地に隣接し、観光地への移動時間が短いこと					
⑲災害時に集落に移動しやすいこと					

問2-2　インターチェンジに関して、重視すべきと思う理由があれば、ご自由にお書きください。（自由回答）

問3　上記以外で重視すべきと思うことがあれば、ご自由にお書きください。（自由回答）

◆あなた自身のことについて【記入または該当する番号に○をつけてください】

住所	1. 山都町　2. 五ヶ瀬町　3. 高千穂町　4. その他（　　）都・道・府・県（　　）市・区・町・村）
性別	1. 男性　2. 女性
年齢	1. 10代　2. 20代　3. 30代　4. 40代　5. 50代　6. 60代　7. 70代以上

問4　普段、国道 218 号(矢部～蘇陽) をどの程度利用していますか？【該当する番号につだけ○をつけてください】
1. ほぼ毎日　2. 週に数回程度　3. 月に数回程度　4. ほとんど利用しない　5. 利用したことがない

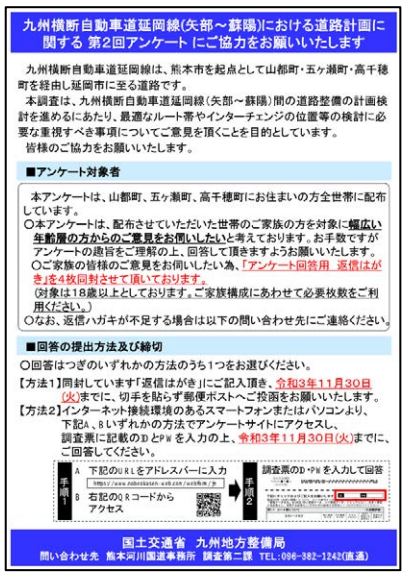
問5　国道 218 号(矢部～蘇陽) を通行する際の主な移動手段は何ですか？【該当する番号につだけ○をつけてください】
1. 自動車　2. 公共交通（バス、タクシー）　3. バイク　4. 自転車　5. 徒歩

問6　国道218号（矢部～蘇陽）を通行する際の主な利用目的は何ですか？【該当する番号につだけ○をつけてください】
1. 通勤・通学　2. 仕事（営業、商談、運送など）　3. 私用（買物、食事、通院など）　4. その他（　　）

※個人情報を同意なく第三者に開示・提供することはありません。（法令により開示を求められた場合を除きます。）

ご協力ありがとうございました。

▲アンケート調査票



九州横断自動車道延岡線(矢部～蘇陽)における道路計画に関する 第2回アンケート にご協力をお願いいたします

九州横断自動車道延岡線は、熊本市を起点として山都町・五ヶ瀬町・高千穂町を経由し延岡市に至る道路です。
本調査は、九州横断自動車道延岡線（矢部～蘇陽）間の道路整備の計画検討を進めるにあたり、最適なルート帯やインターチェンジの位置等の検討に必要な重視すべき事項についてご意見を頂くことを目的としています。
皆様のご協力をお願いいたします。

■アンケート対象者

本アンケートは、山都町、五ヶ瀬町、高千穂町にお住まいの方全世帯に配布しています。
○本アンケートは、配布させていただいた世帯のご家族の方を対象に**幅広い年齢層の方からのご意見をお伺いしたい**と考えております。お手数ですがアンケートの趣旨をご理解の上、回答して頂きますようお願いいたします。
○ご家族の皆様のご意見をお伺いしたい為、「アンケート回答用 返信はがき」を4枚同封させて頂いております。
（対象は18歳以上としております。ご家族構成にあわせて必要枚数をご利用ください。）
○なお、返信ハガキが不足する場合は以下の問い合わせ先にご連絡ください。

■回答の提出方法及び締切

○回答はつぎのいずれかの方法のうち1つをお選びください。
【方法1】同封しています「返信はがき」にご記入頂き、令和3年11月30日(火)までに、切手を貼らず郵便ポストへご投函をお願いいたします。
【方法2】インターネット接続環境のあるスマートフォンまたはパソコンより、下記A、Bいずれかの方法でアンケートサイトにアクセスし、調査票に記載のID とPW を入力の上、令和3年11月30日(火)までに、ご回答してください。

手順1　A 下記のURLをアドレスバーに入力　B 右記のQ R コードからアクセス
手順2　調査票のID・PW を入力して回答

国土交通省　九州地方整備局
問い合わせ先　熊本河川国道事務所　調査第二課　TEL:096-382-1242(直通)

評価の考え方

<ルート帯を検討するうえで重視すべき事項>

【暮らし】
①・熊本市や延岡市等へ走りやすく事故の危険性が少ないこと
【医療】
②・熊本市内の第三次救急医療施設へ早く搬送できること
③・熊本市内の第三次救急医療施設への救急搬送時に患者への負担が少ないこと

【物流】
④・沿線地域の産業施設から熊本市等の積み替え拠点への輸送時間が短いこと
⑤・沿線地域の産業施設から熊本市内の物流集積拠点への輸送時に痛みや荷崩れなどが少ないこと
【観光】
⑥・観光地への移動時間が短いこと

【防災】
⑦・災害時に国道218号等の代替路として利用できること

イメージ（案①②別線整備案）
イメージ（案③現道改良案）

<道路整備による影響>

⑧ 生活環境(騒音など)への影響が小さいこと
⑨ 自然環境(動植物が生息する田畑・山地など)への影響が小さいこと
⑩ 移転する家屋が少ないこと
⑪ 沿道からの利用がしやすいこと
⑫ 施工時に現道の交通への影響が少なく、施工期間が短いこと
⑬ 段階的な整備効果が望めること
⑭ 整備費用が安いこと

<インターチェンジの位置等を検討するうえで重視すべき事項>

【暮らし】
⑮・集落に隣接し、熊本市や延岡市等へ安全にかつ早く移動できること
【医療】
⑯・集落に隣接し、熊本市等の第三次救急医療施設へ早く搬送できること
【物流】
⑰・地域の産業施設に隣接し、産業拠点への輸送時間が短いこと
【観光】
⑱・地域の観光地に隣接し、観光地への移動時間が短いこと
【防災】
⑲・災害時に集落に移動しやすいこと

▲リーフレット（一部抜粋）

■住民アンケート調査票・回収状況

対象	地域住民
配布	山都町　6,452戸 五ヶ瀬町　1,295戸 高千穂町　4,978戸　（合計　約12,725戸） ※URL及びQRコードからの回答を含む
意見聴取数	6,617票 （うちWEB：176票）
期間	令和3年9月17日（金） ～令和3年11月30日（火）

▲回収はがき

2－2. 第2回意見聴取の実施状況　～オープンハウス～

■オープンハウス実施状況

＜平日＞

令和3年10月4日（月）山都町役場本庁

令和3年10月5日（火）清和支所

対象	地域住民・広域的な道路利用者
会場	・山都町役場本庁　・清和支所 ・蘇陽支所 ・五ヶ瀬町役場　・高千穂町役場 ・道の駅「通潤橋」 ・道の駅「清和文楽邑」 ・道の駅「そよ風パーク」 ・道の駅「高千穂」 ・特産センター五ヶ瀬
意見聴取数	796票
期間	【平日】:5日間 令和3年10月4日（月）～8日（金） 【休日】:4日間 令和3年10月2日（土）、3日（日）、 9日（土）、10日（日）

＜休日＞

令和3年10月2日（土）道の駅「通潤橋」

令和3年10月9日（土）特産センター五ヶ瀬

令和3年10月10日（日 ）道の駅「高千穂」

2－2. 第2回意見聴取の実施状況　～留置き・HP等～

■留置きアンケートの設置

対象	広域的な道路利用者
設置箇所	・道の駅「通潤橋」 ・道の駅「清和文楽邑」 ・道の駅「そよ風パーク」 ・道の駅「高千穂」 ・特産センター五ヶ瀬
意見聴取数	125票（うちWEB：80票）
期間	令和3年9月17日（金） ～令和3年11月30日（火）

道の駅「通潤橋」

道の駅「清和文楽邑」

道の駅「そよ風パーク」

特産センター五ヶ瀬

道の駅「高千穂」

＜ポスター＞

2－2. 第2回意見聴取の実施状況 ～留置き・HP等～

■WEBアンケート調査の実施

＜地域住民用＞

九州横断自動車道延岡線(矢部～蘇陽)における道路計画に関する 第2回アンケート にご協力をお願いいたします

九州横断自動車道延岡線は、熊本市を起点として山都町・五ヶ瀬町・高千穂町を経由し延岡市に至る道路です。

本調査は、九州横断自動車道延岡線（矢部～蘇陽）間の道路整備の計画検討を進めるにあたり、最適なルート帯やインターチェンジの位置等の検討に必要な重視すべき事項についてご意見を頂くことを目的としています。

皆様のご協力をお願いいたします。

■アンケート対象者

本アンケートは、山都町、五ヶ瀬町、高千穂町にお住まいの方全世帯に配布しています。

○本アンケートは、配布させていただいた世帯のご家族の方を対象に**幅広い年齢層の方からのご意見をお伺いしたい**と考えております。お手数ですがアンケートの趣旨をご理解の上、回答して頂きますようお願いいたします。

○ご家族の皆様のご意見をお伺いしたい為、「アンケート回答用　返信はがき」を4枚同封させて頂いております。

（対象は18歳以上としております。ご家族構成にあわせて必要枚数をご利用ください。）

○なお、返信ハガキが不足する場合は以下の問い合わせ先にご連絡ください。

■回答の提出方法及び締切

○回答はつぎのいずれかの方法のうち1つをお選びください。

【方法1】同封しています「返信はがき」にご記入頂き、令和3年11月30日(火)までに、切手を貼らず郵便ポストへご投函をお願いいたします。

【方法2】インターネット接続環境のあるスマートフォンまたはパソコンより、下記A、Bいずれかの方法でアンケートサイトにアクセスし、調査票に記載のIDとPWを入力の上、令和3年11月30日(火)までに、ご回答してください。

手順1
A 下記のURLをアドレスバーに入力
https://www.nobeokasen-web.com/webform/jp
B 右記のQRコードからアクセス

手順2
調査票のID・PWを入力して回答

国土交通省　九州地方整備局
問い合わせ先　熊本河川国道事務所　調査第二課　TEL:096-382-1242(直通)

＜広域的な道路利用者用＞

九州横断自動車道延岡線（矢部～蘇陽）

道路計画に関する意見をお聞かせください

2021年11月30日(火)まで実施中！

アンケート実施中！

九州横断自動車道延岡線（矢部～蘇陽）における以下の最適なルート帯案の検討に必要な「重視すべき事項」について、回答をお願いします。
回答は右記のいずれかの方法のうち1つをお選びください。

【方法1】アンケート回答用紙にご記入後、回収BOXへ投函をお願いします。

【方法2】アンケートサイトにアクセスし、回答をお願いします。
URL https://www.nobeokasen-web.com/webform/tm
QRコードはこちら→

九州横断自動車道延岡線（矢部～蘇陽）対象区間位置図

計画段階評価の流れ：九州地方小委員会 → 【第1回アンケート】 → 九州地方小委員会 → 【第2回アンケート】 → 地域の皆様、関係機関、企業等への意見聴取 → アンケート結果の分析 → 地域の皆様からの意見も踏まえ、ルート帯案等を引き続き検討します

第1回（R1.9.11）　第1回（R1.11～R2.1）　第2回（R3.9.13）

現在はこの段階です

ルート帯案を検討するうえで重視すべき事項

【暮らし】
① 熊本市や延岡市等へ走りやすく事故の危険性が少ないこと
【医療】
② 熊本市内の第三次救急医療施設へ早く搬送できること
③ 熊本市内の第三次救急医療施設への救急搬送時に患者への負担が少ないこと

【物流】
④ 沿線地域の産業施設から熊本市等の積み替え拠点への輸送時間が短いこと
⑤ 沿線地域の産業施設から熊本市内の物流集積拠点への輸送時へ渋みや荷崩れなどが少ないこと
【観光】
⑥ 観光地への移動時間が短いこと

【防災】
⑦ 災害時に国道218号等の代替路として利用できること

<道路整備による影響>
⑧ 生活環境（騒音など）への影響が小さいこと
⑨ 自然環境（動植物が生息する田畑・山地など）への影響が小さいこと
⑩ 移転する家屋が少ないこと
⑪ 沿道からの利用がしやすいこと
⑫ 施工時に現道の交通への影響が少なく、施工期間が短いこと
⑬ 段階的な整備効果が望めること
⑭ 整備費用が安いこと

インターチェンジの位置等を検討するうえで重視すべき事項

【暮らし】
⑮ 集落に隣接し、熊本市や延岡市等へ安全にかつ早く移動できること
【医療】
⑯ 集落に隣接し、熊本市等の第三次救急医療施設へ早く搬送できること
【物流】
⑰ 地域の産業施設に隣接し、産業拠点への輸送時間が短いこと
【観光】
⑱ 地域の観光地に隣接し、観光地への移動時間が短いこと
【防災】
⑲ 災害時に集落に移動しやすいこと

お問い合わせ先：国土交通省　九州地方整備局　熊本河川国道事務所　調査第二課
TEL ： 096－382－1242（直通）平日8:30～17:15
URL ： http://www.qsr.mlit.go.jp/kumamoto/

＜WEBアンケート開始画面＞

九州横断自動車道延岡線（矢部～蘇陽）における道路計画に関する
第二回アンケートにご協力をお願いいたします

アンケートの目的

九州横断自動車道延岡線は、熊本市を起点として山都町・五ヶ瀬町・高千穂町を経由し延岡市に至る道路です。

本調査は、九州横断自動車道延岡線（矢部～蘇陽）間の道路整備の計画検討を進めるにあたり、最適なルート帯やインターチェンジの位置等の検討に必要な重視すべき事項についてご意見を頂くことを目的としています。

お聞きした「重視すべき事項」※1は、各ルート帯における政策目標等の達成状況と合わせて最適な「ルート帯案」※2を検討する際の参考とします。なお、最終的なルート帯案については、九州地方小委員会の意見を踏まえ決定します。頂いた回答はアンケート以外の目的で使用することはありませんので、率直なご意見をお聞かせください。皆様のご協力をお願いいたします。

※1：「重視すべき事項」とは、最適なルート帯案を決定するための評価項目です。
※2：「ルート帯案」とは、路線を計画する概ねの幅を示す案です。
なお、3つのルート帯は令和の9月に開催された九州地方小委員会において承認されたものです。

九州横断自動車道延岡線（矢部～蘇陽）対象区間位置図

凡例：開通区間／事業区間／評価対象区間／計画路線／対象地域

計画段階評価対象区間（矢部～蘇陽）

事業区間 高千穂堂屋敷道路～高千穂日之影道路 延長3.3km
事業区間 延長5.1km
事業区間 延長7.9km
事業区間 延長9.2km
北方延岡道路 延長13.1km
事業区間 延長23.0km

拡大図はこちら

＜WEBアンケート回答画面＞

九州横断自動車道延岡線（矢部～蘇陽）における道路計画に関する第二回アンケート

下記の該当するものを選択してください。

国道218号（矢部～蘇陽）について、ルート帯やインターチェンジの位置等の検討に必要な「重視すべき事項」を5段階（特に重視すべき、やや重視すべき、どちらでもない、あまり重視する必要なし、重視する必要なし）のそれぞれ該当する項目に1つだけクリックをしてチェックを付けてください。

問1-1 ルート帯について（5段階評価）

重視すべき事項	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらでもない	あまり重視する必要なし	重視する必要なし
▼暮らし					
(1)熊本市や延岡市等へ走りやすく事故の危険性が少ないこと	○	○	○	○	○
▼医療					
(2)熊本市内の第三次救急医療施設へ早く搬送できること	○	○	○	○	○
(3)熊本市内の第三次救急医療施設への救急搬送時に患者への負担が少ないこと	○	○	○	○	○
▼物流					
(4)沿線地域の産業施設から熊本市等の積み替え拠点への輸送時間が短いこと	○	○	○	○	○

■実施にあたっての工夫

- ●住民アンケート、留置き、記者発表、WEBモニターアンケートそれぞれでWEBサイトを準備
- ●スマートフォン・タブレット・PC対応
- ●1人1回までの回答制限を設定

2－2. 第2回意見聴取の実施状況　～広報～

①ホームページ：国土交通省熊本河川国道事務所、熊本県、沿線自治体(山都町・五ヶ瀬町・高千穂町)ホームページに意見聴取のページ（記者発表）を掲載
②広報ポスター・チラシ：道の駅等にポスターを掲示・設置
③地域への情報提供：SNS（熊本河川国道事務所のTwitterに掲載）、町内広報誌、役場の館内放送、新聞広告　など

①ホームページ（R3.9.17記者発表）

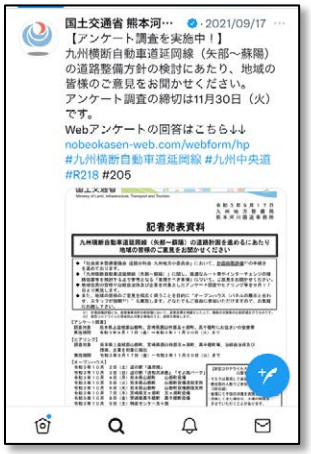
▲記者発表(R3.9.17)

②広報ポスター・チラシ

▲オープンハウスポスター

▲留置き

③地域へ情報提供



▲Twitter (R3.9.17)

▲町内広報誌（山都町）

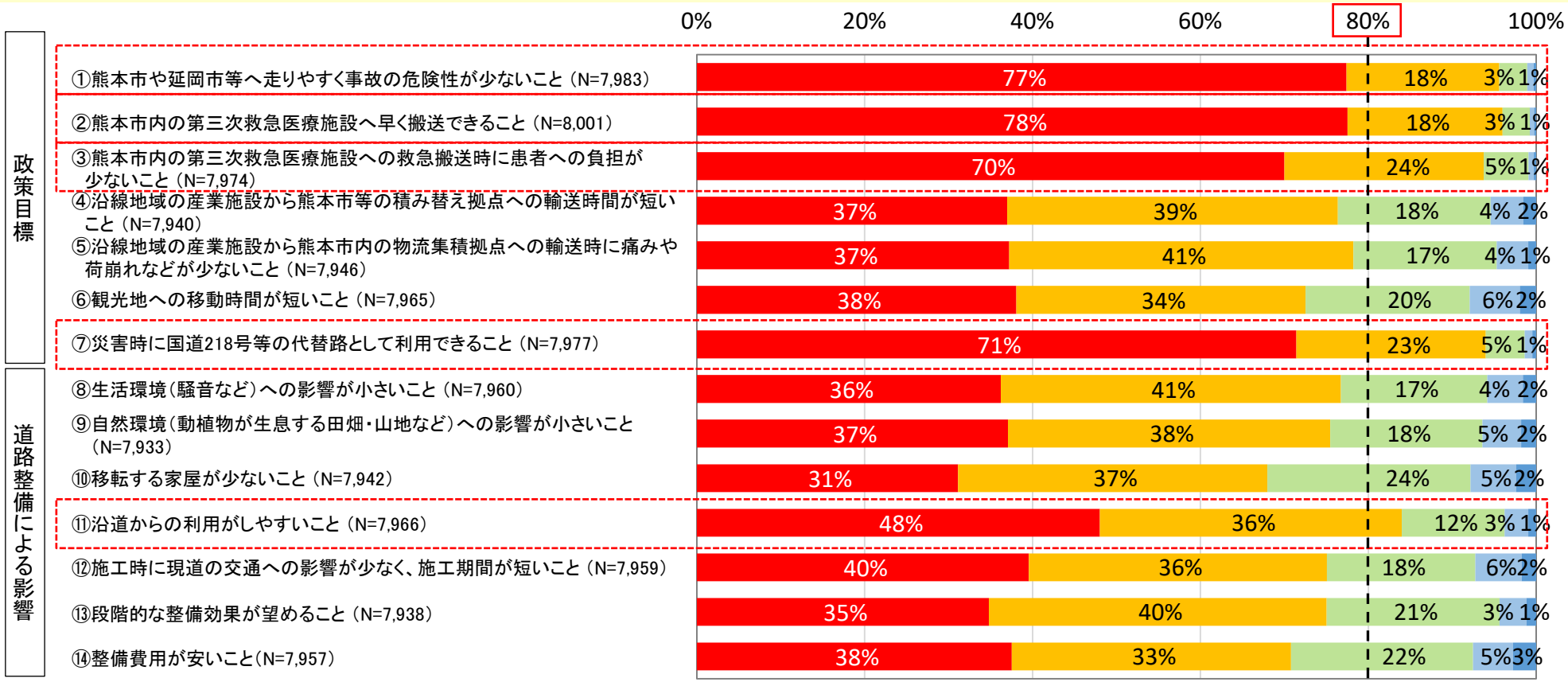
▲新聞広告(R3.11.19朝刊)

３．第2回意見聴取の結果

３－１．第2回意見聴取の結果（ルート帯案に関すること）

■政策目標については、全ての項目で重視すべきとの意見が7割以上であった。
■重視すべきとの意見は、「②熊本市内の第三次救急医療施設へ早く搬送できること」「①熊本市や延岡市等へ走りやすく事故の危険性が少ないこと」「⑦災害時に国道218号等の代替路として利用できること」「③熊本市内の第三次救急医療施設への救急搬送時に患者への負担が少ないこと」について9割以上と非常に多かった。
■道路整備による影響については、全ての項目で重視すべきとの意見が概ね7割以上であった。
■重視すべきとの意見は、「⑪沿道からの利用がしやすいこと」について8割以上と多かった。

【質問1】ルート帯案の検討に必要な「重視すべき事項」について5段階（特に重視すべき・やや重視すべき・どちらでもない・あまり重視する必要なし・重視する必要なし）で評価して下さい。



：意見聴取で重視すべきとされている上位の項目

※） 四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある

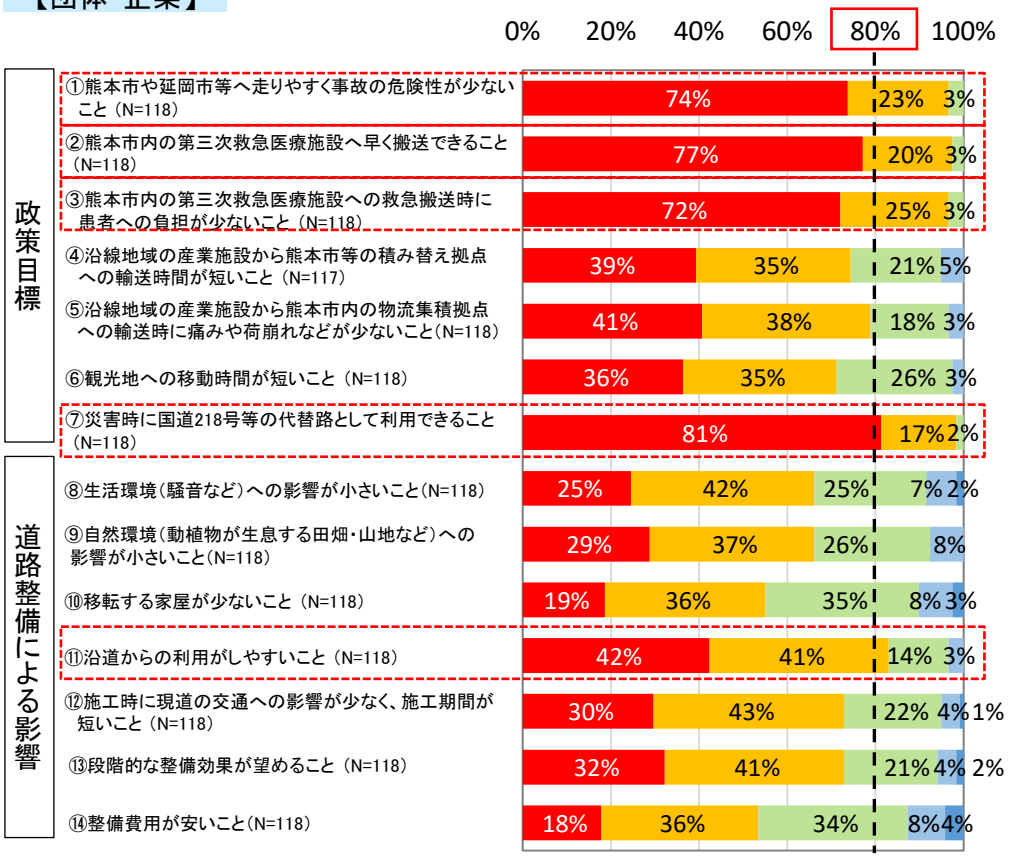
3－1．第2回意見聴取の結果（ルート帯案に関すること）

■政策目標について、団体・企業と地域住民ともに、「②熊本市内の第三次救急医療施設へ早く搬送できること」「⑦災害時に国道218号等の代替路として利用できること」「①熊本市や延岡市等へ走りやすく事故の危険性が少ないこと 」「③熊本市内の第三次救急医療施設への救急搬送時に患者への負担が少ないこと」を重視すべきとの意見が9割以上と非常に多かった。

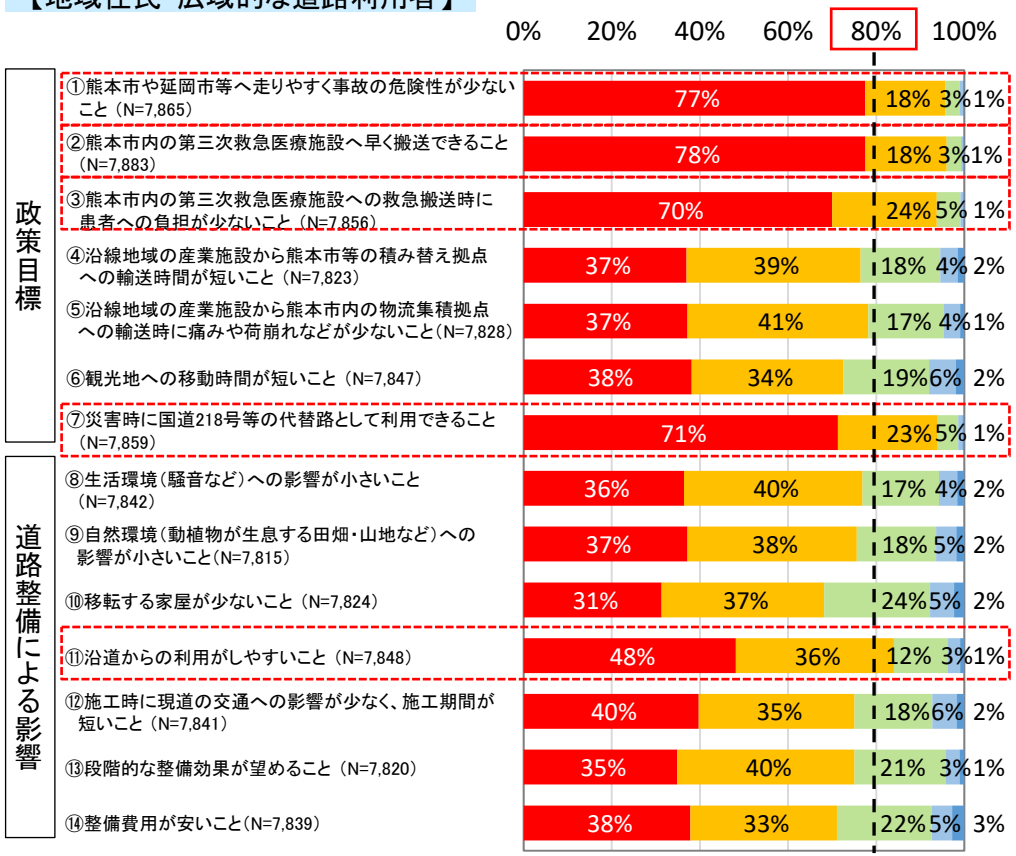
■道路整備による影響について、団体・企業と地域住民ともに、「⑪沿道からの利用がしやすいこと」について重視すべきとの意見が8割以上と多った。

【質問1】ルート帯案の検討に必要な「重視すべき事項」について5段階（特に重視すべき・やや重視すべき・どちらでもない・あまり重視する必要なし・重視する必要なし）で評価して下さい。

【団体・企業】



【地域住民・広域的な道路利用者】



：意見聴取で重視すべきとされている上位の項目

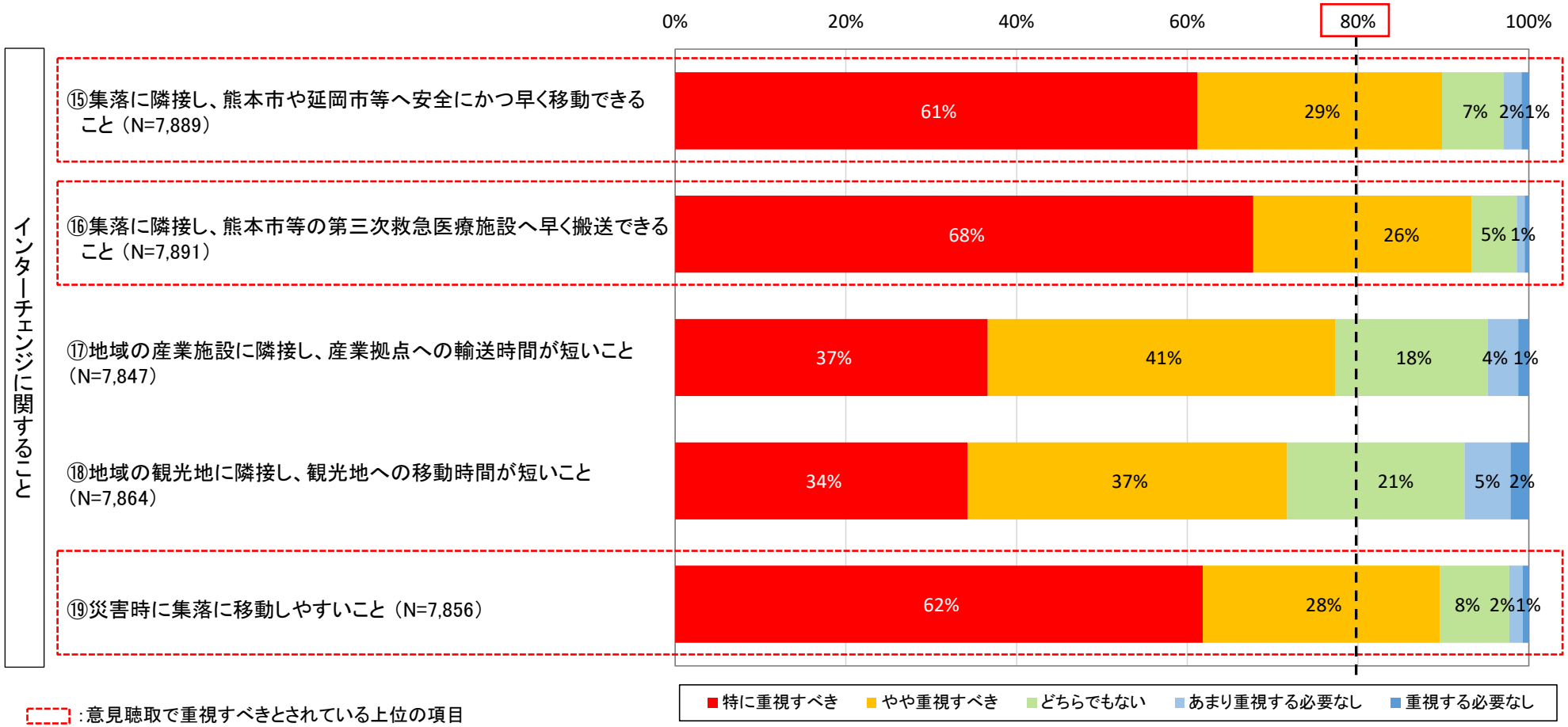
※） 四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある

■特に重視すべき ■やや重視すべき ■どちらでもない ■あまり重視する必要なし ■重視する必要なし

３－２．第2回意見聴取の結果（インターチェンジに関すること）

■インターチェンジに関しては、全ての項目で重視すべきとの意見が7割以上であった。
■重視すべきとの意見は、「⑯集落に隣接し、熊本市等の第三次救急医療施設へ早く搬送できること」「⑲災害時に集落に移動しやすいこと」「⑮集落に隣接し、熊本市や延岡市等へ安全にかつ早く移動できること」について9割以上と非常に多かった。

【質問2】インターチェンジの位置等の検討に必要な「重視すべき事項」について5段階（特に重視すべき・やや重視すべき・どちらでもない・あまり重視する必要なし・重視する必要なし）で評価して下さい。



：意見聴取で重視すべきとされている上位の項目

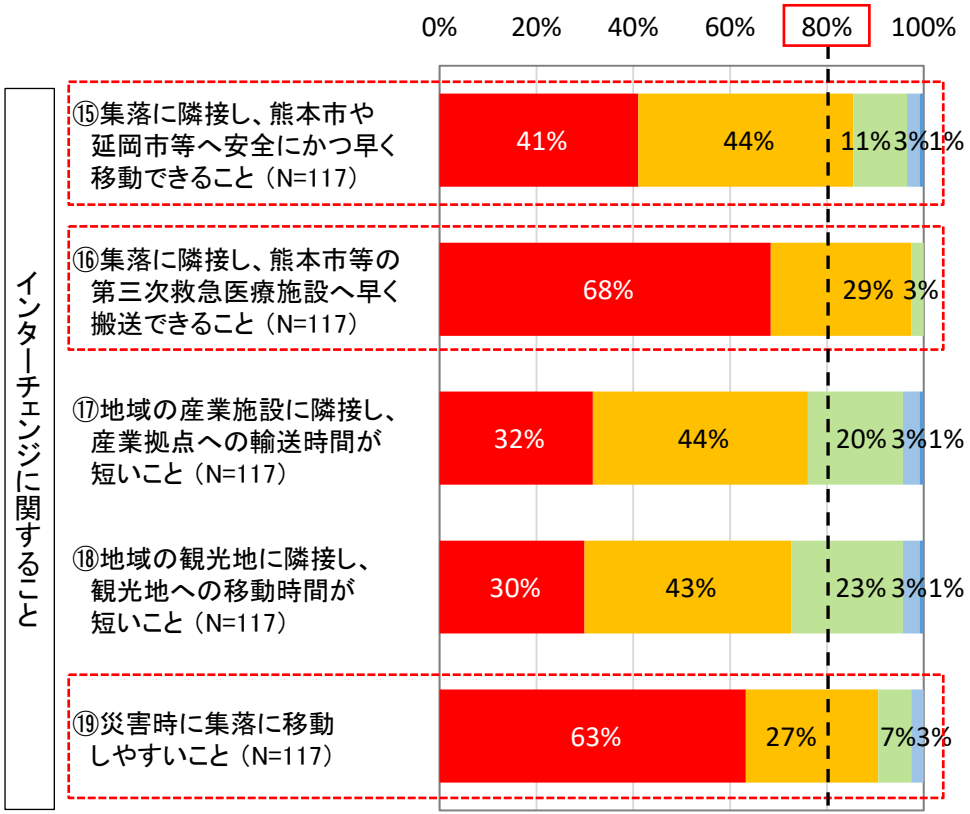
※） 四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある

３－２．第2回意見聴取の結果（インターチェンジに関すること）

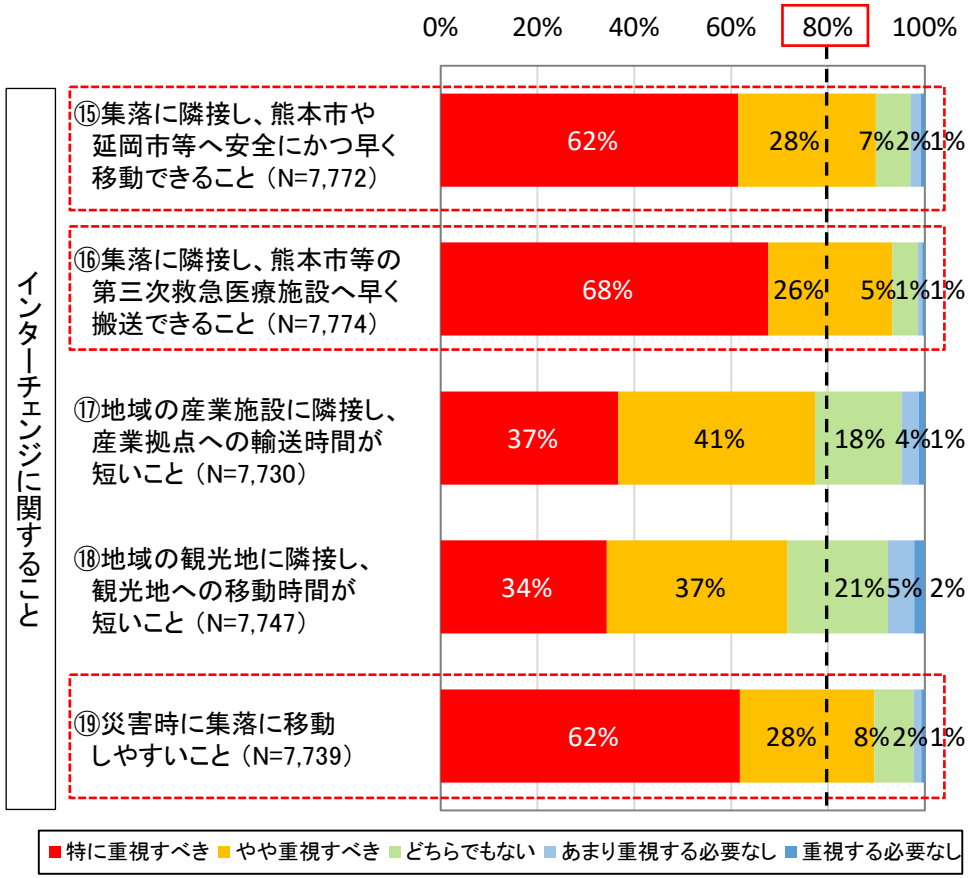
■インターチェンジに関して、団体・企業、地域住民ともに、「⑯集落に隣接し、熊本市等の第三次救急医療施設へ早く搬送できること」「⑲災害時に集落に移動しやすいこと」「⑮集落に隣接し、熊本市や延岡市等へ安全にかつ早く移動できること」について重視すべきとの意見が9割以上と非常に多かった。

【質問2】インターチェンジの位置等の検討に必要な「重視すべき事項」について5段階（特に重視すべき・やや重視すべき・どちらでもない・あまり重視する必要なし・重視する必要なし）で評価して下さい。

【団体・企業】



【地域住民・広域的な道路利用者】



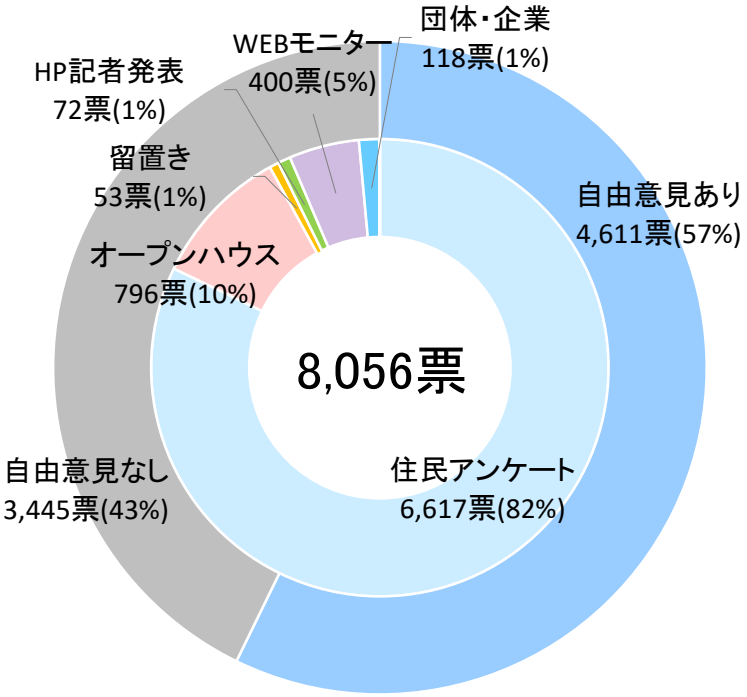
：意見聴取で重視すべきとされている上位の項目

※） 四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある

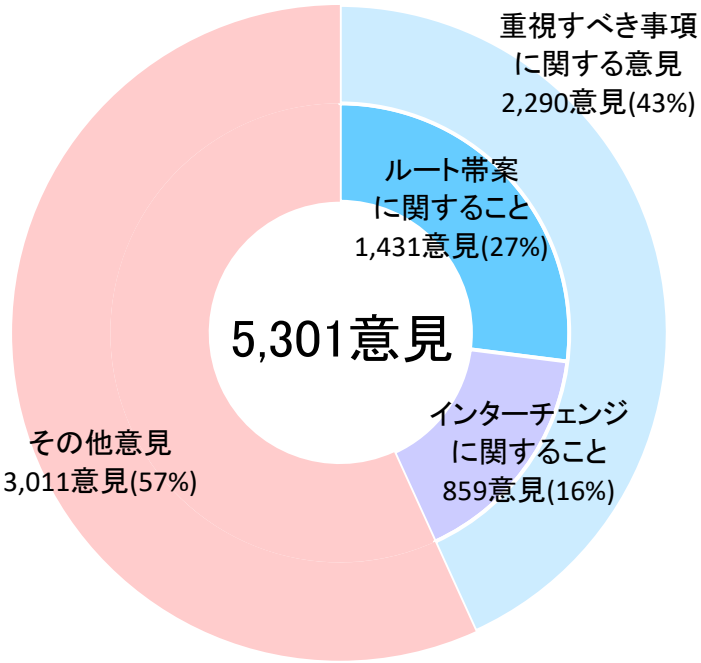
３－３. 意見聴取で寄せられた自由意見

■第２回意見聴取において、団体・企業ヒアリング118票、住民アンケート6,617票、HP記者発表72票、オープンハウス796票、留置き53票、WEBモニター調査400票、全8,056票の回収を行った。このうち、自由意見として、5,301意見が寄せられた。
■自由意見の内訳として、重視すべき事項に関する意見が約4割、重視すべき事項以外のその他意見が約6割であった。

【意見聴取の回収状況】



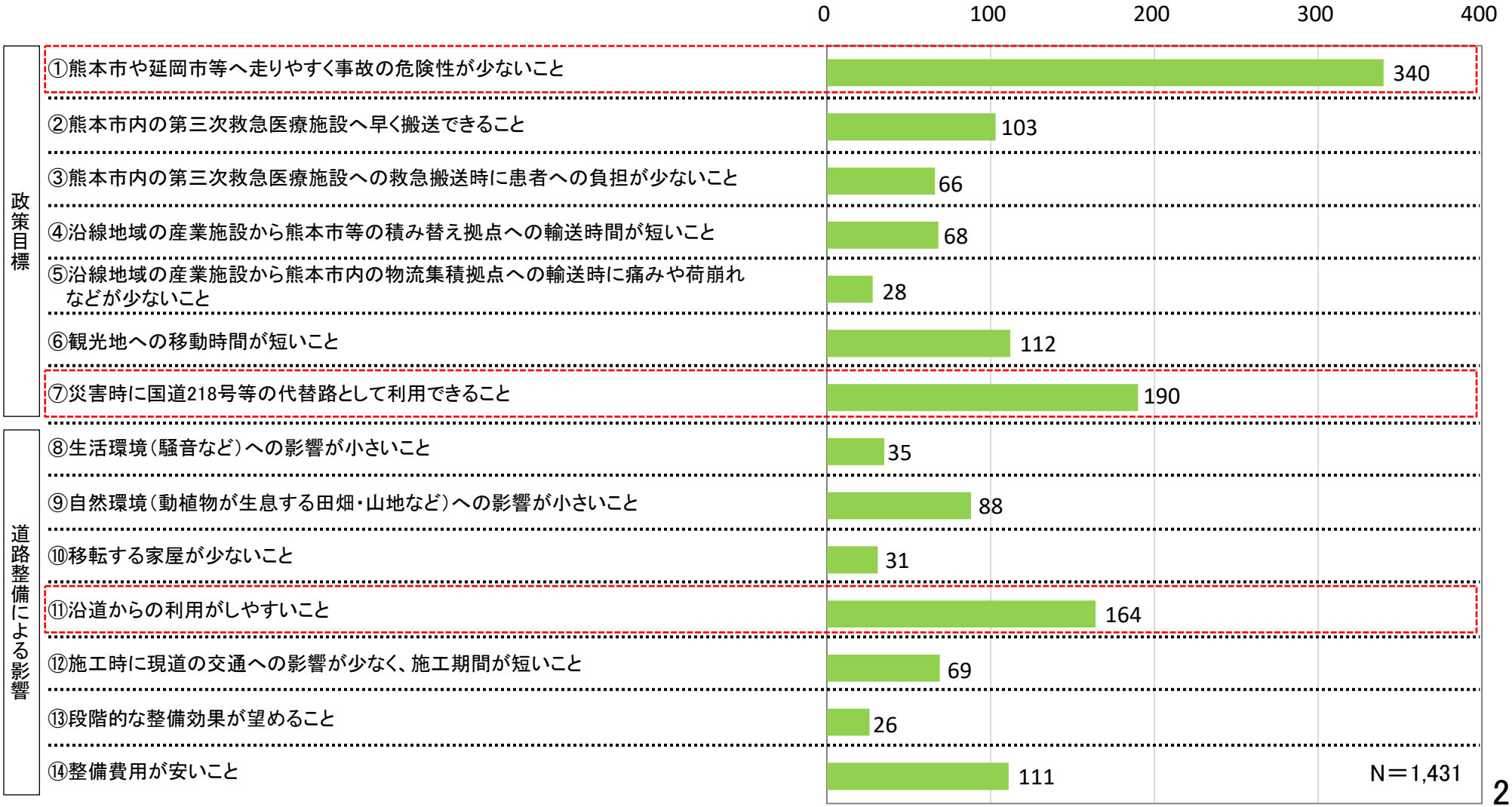
【自由意見の内訳】



※） 四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある

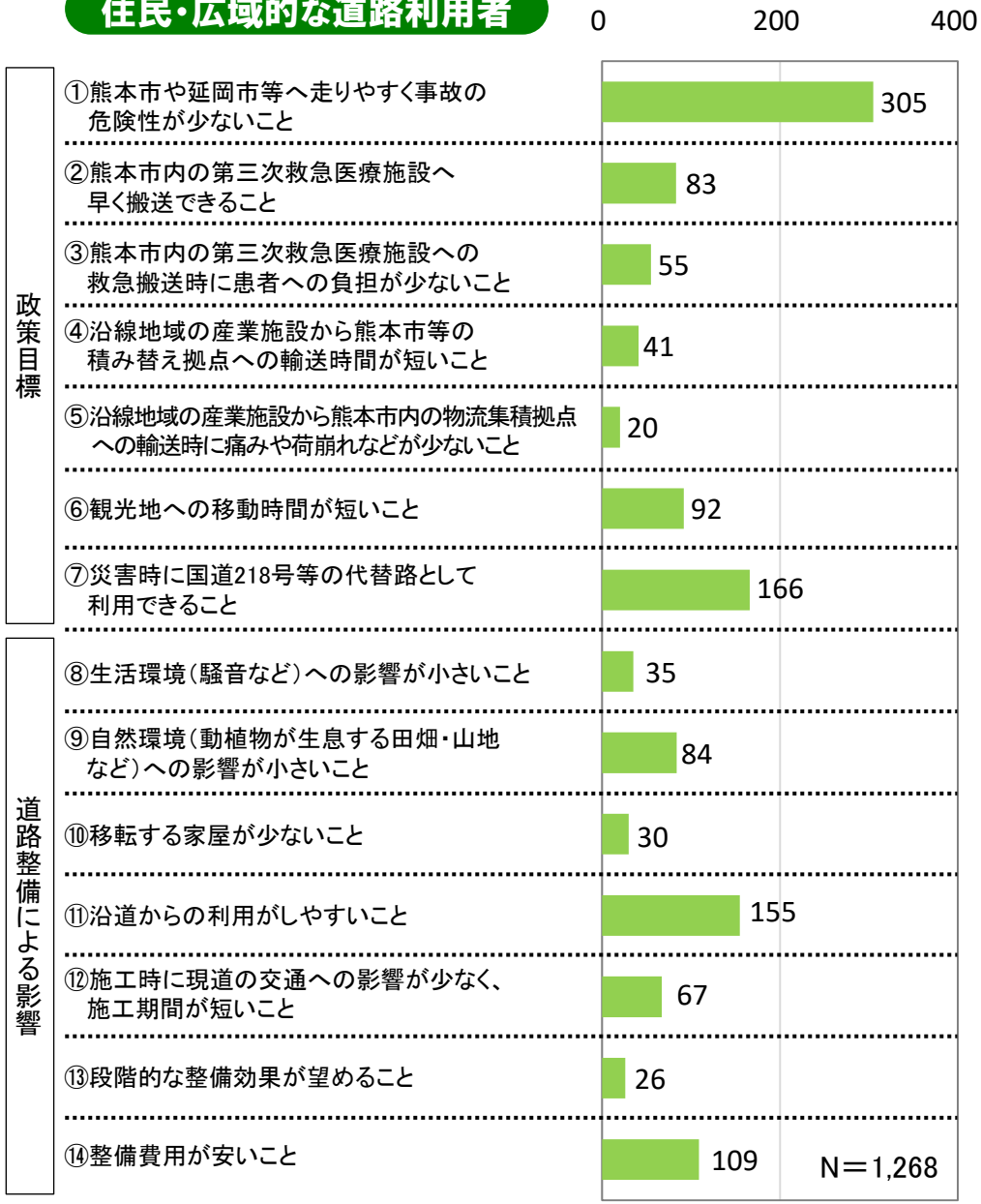
３－３．意見聴取で寄せられた自由意見＜（１）ルート帯案について（重視すべき事項）＞

■自由意見のうち、ルート帯案に関する重視すべき事項として、1,431意見が寄せられた。
■政策目標については、「①熊本市や延岡市等へ走りやすく事故の危険性が少ないこと」「⑦災害時に国道218号等の代替路として利用できること」に関する意見が多かった。
■道路整備による影響については、「⑪沿道からの利用がしやすいこと」に関する意見が多かった。

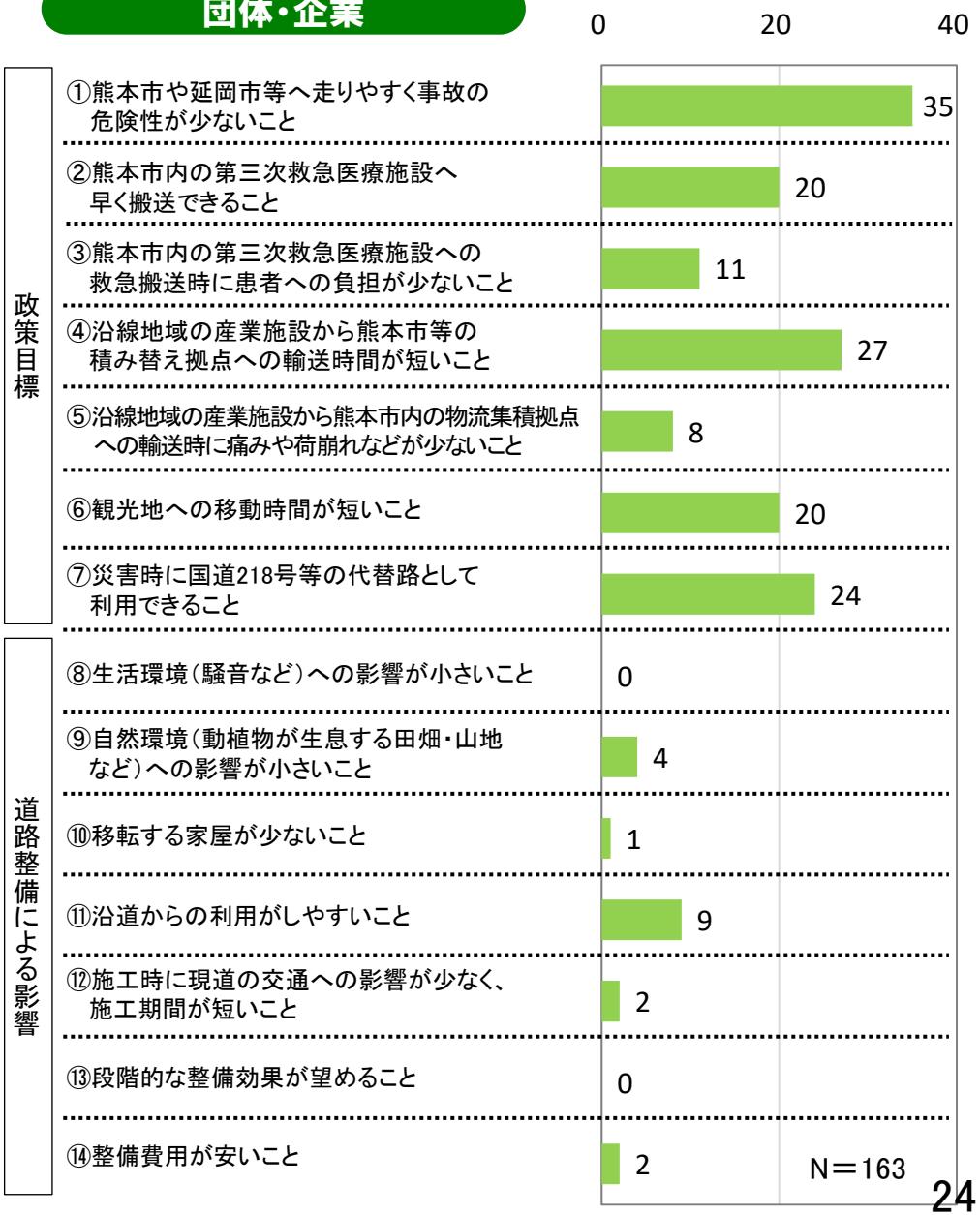


３－３．意見聴取で寄せられた自由意見＜（１）ルート帯案について（重視すべき事項）＞

住民・広域的な道路利用者



団体・企業



3－3. 意見聴取で寄せられた自由意見＜（1）ルート帯案について（重視すべき事項）＞

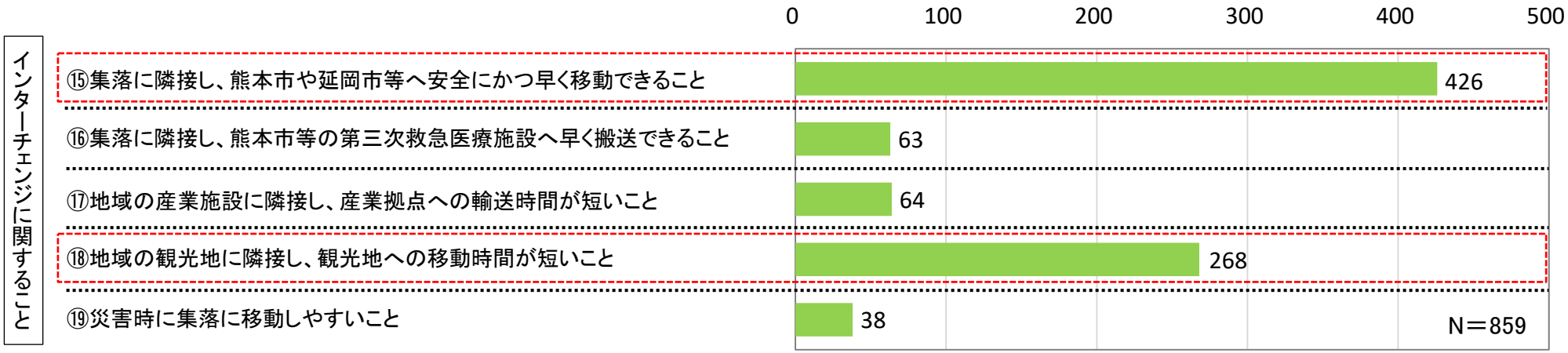
評価項目					自由意見
項目			評価指標 ＜第2回意見聴取＞		
政策目標	暮らし	走行性の確保や安全性の向上による安心した暮らしの支援	①	現道（国道218号）の走行性、安全性	・冬場は積雪があるので縦断勾配をゆるく、カーブ曲線は大きく事故が少ないようにしてほしい。（高千穂町/40代男性） ・ドライバーとしては運転しやすい道路整備（直線を多く）していただきたい。（益城町/50代男性） ・デイサービスなどで毎日利用する区間であるため、通行の際の安全性を考えると①は重視してほしい。（山都町/医療・福祉）
	医療	速達性、走行性の向上による救急医療活動の支援	②	沿線地域※1から熊本市内の第三次救急医療施設（済生会病院）への搬送時間	・病人の搬送を経験した。少しでも病人への負担が少ない安全な道路を願う。一分でも早く病院に着きたかった。（高千穂町/40代男性） ・市内に早く行けることにより助けられる人もいると思う（山都町/20代女性） ・友人が怪我で救急搬送された際に、そよう病院から熊本市内の病院に転院搬送されたが、時間もかかり揺れも酷く、非常に辛い思いをしていたので、地域からアクセスしやすく速達性の高い道路が必要と感じた。（福岡県福岡市/20代男性）
			③	沿線地域※2から熊本市内の第三次救急医療施設（済生会病院）への安静搬送（走行性）	・山間地で傾斜が多く、曲線も多いので、できるだけ緩やかな道路にしてほしい。重病人は熊本市か延岡に送られる。（高千穂町/70代以上男性） ・緊急走行を考慮すると最短距離でカーブが少ないとありがたい。（御船町/20代男性） ・以前、高千穂町から熊本市内の病院へ救急車で搬送していただいたことがあるが、一般道の道路状態があまり良くない箇所もあるため揺れがとにかく多く、搬送中ずっと不安だった。その体験から医療面について特に重視すべきと思った。（高千穂町/20代女性）
	物流	速達性、走行性、安全性の向上による産業の活性化支援	④	沿線地域の産業施設※3から熊本市内の積替え拠点までの移動時間	・北部地域は農業生産が山都町内で屈指の生産額を誇り、食料基地としての期待が高い。高速道路の開通は市場へのアクセスが近くなり、より一層の発展が期待できる。（山都町/50代男性） ・物流において延岡と熊本市を結ぶ重要な道となるため。（山都町/30代男性） ・輸送にあたっては定時性・速達性が重要であるため、自動車専用道路の整備に期待している。（山都町/卸売・小売業）
			⑤	沿線地域の産業施設※4から熊本市内の物流集積拠点までの走行性、安全性	・農産物運送も多いので⑤を重視したい。（山都町/70代以上男性） ・運送業のため、平坦で走りやすい道路にして欲しい。（南阿蘇村/50代男性） ・カーブ、揺れはビンなどの材料の破損に繋がり、走行速度は原料の定時配送や延岡からの製品の出荷の効率性が向上するため、自動車専用道路が望ましい。（高千穂町/製造業）
	観光	速達性、定時性の確保による観光振興の支援	⑥	熊本方面（嘉島JCT）から高千穂への移動時間	・一番考えてしまうのは、子供の大好きな熊本動植物園への時間短縮を切に願ってしまう。（高千穂町/30代男性） ・観光に来たので高千穂に早く行けて山都町なども立ち寄れるようになると良いと思う。（佐賀県佐賀市/40代女性） ・宮崎県以外の多方面から観光客の方に来ていただけるように観光⑥を重視し、案2で整備するのが良いと思う。（高千穂町/卸売・小売業）
	防災	災害時に機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築	⑦	災害時の代替路機能の確保	・地形的に河川や渓谷が多いので、大雨等災害に影響を受けないよう番号⑦を特に重要視すべきだと思う。（山都町/50代女性） ・通行止めになると孤立しそうに感じた。自動車道は1本必要。（大阪府寝屋川市/60代男性） ・国道218号より離れすぎると緊急時、災害時に道路利用の互換性が悪くなります。案2がいいと思います。（山都町/タクシー業）
道路整備による影響	生活環境		⑧	大気質、騒音等	・騒音に悩まされることがないようにしたい。（山都町/50代男性） ・24時間突貫工事をする時、民家を通れば必ず苦情が来るし、作業の効率も良くないし、支障をきたす。山のほうがすべての方に対して仕事の効率が良い。（山都町/70代以上女性）
	自然環境		⑨	動物の生息地、植物の生育地への影響	・あまり山の方になると野生動物が多いように思います。なので避けて欲しい。（山都町/40代女性） ・自然環境に配慮することを第一義としていただきたい。（高千穂町/サービス業）
	集落への影響		⑩	移転が必要となる家屋等の数	・移転する家屋があると集落が成り立たない所も出てくるのでは？と心配です。（高千穂町/50代女性） ・移転する家屋が少ないこと。（山都町/70代以上男性）
	沿道利用		⑪	周辺からのアクセス利用	・住民や利用者に便利のいいルート（山都町/40代男性） ・既存の道路から乗り入れしやすく、インターチェンジを多めに造ってもらいたい（高森町/60代男性） ・地域からアクセスしやすいルートがよい。（福岡県福岡市/40代男性）
	施工性		⑫	現道交通への影響、施工期間	・施工期間が短く、整備が早く進むため②案が良いと思います。（山都町/60代男性） ・案①か②のほうが良い、218号は工事が長くなるので避けた方がいい。（高千穂町/70代以上男性） ・現道への交通の影響が少ないこと（片側通行等道路交通規制がないこと）。（山都町/70代以上男性）
	段階的な効果の発現		⑬	発現の時期	・部分的な開通ができるようなルートが良いと思う（山都町/30代男性） ・南側ルート。段階的な効果発現があり、良いと思う（山都町/60代男性）
	コスト		⑭	整備に要する費用	・費用について、最善のルートの為金を惜しまず、十分に予算をつけて欲しい。（山都町/40代男性） ・工事費のかからないルート（山都町/40代以上男性）

※1…沿線地域：山都町蘇陽支所
※2…沿線地域：案①～③の上段_山都町蘇陽支所、案①と案②の下段_山都町清和支所
※3…沿線地域の産業施設：JAかみましき清和支所
※4…沿線地域の産業施設：西臼杵森林組合（五ヶ瀬町）

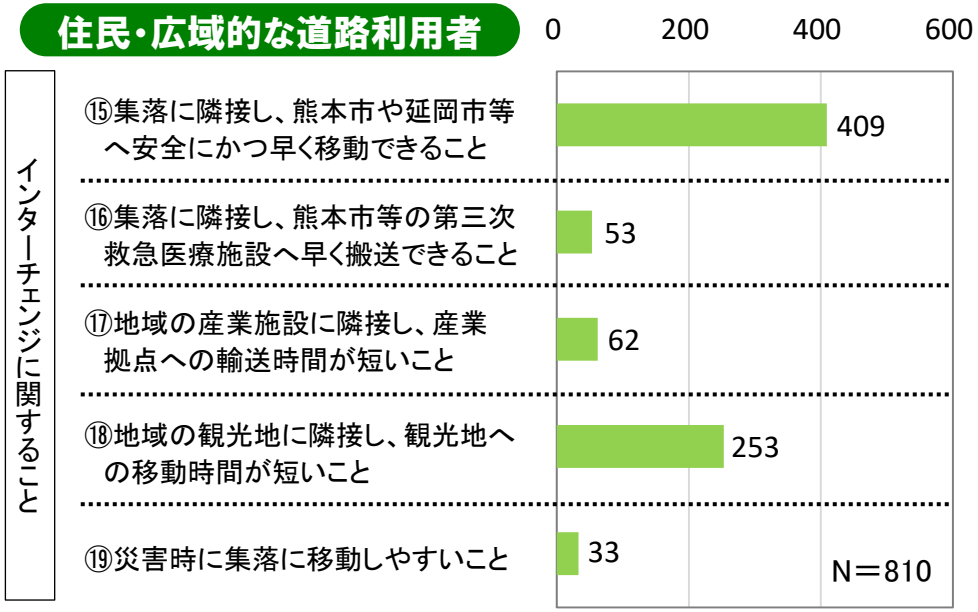
□：意見聴取で重視すべきとされている上位の項目

３－４．意見聴取で寄せられた自由意見＜（２）インターチェンジについて（重視すべき事項）＞

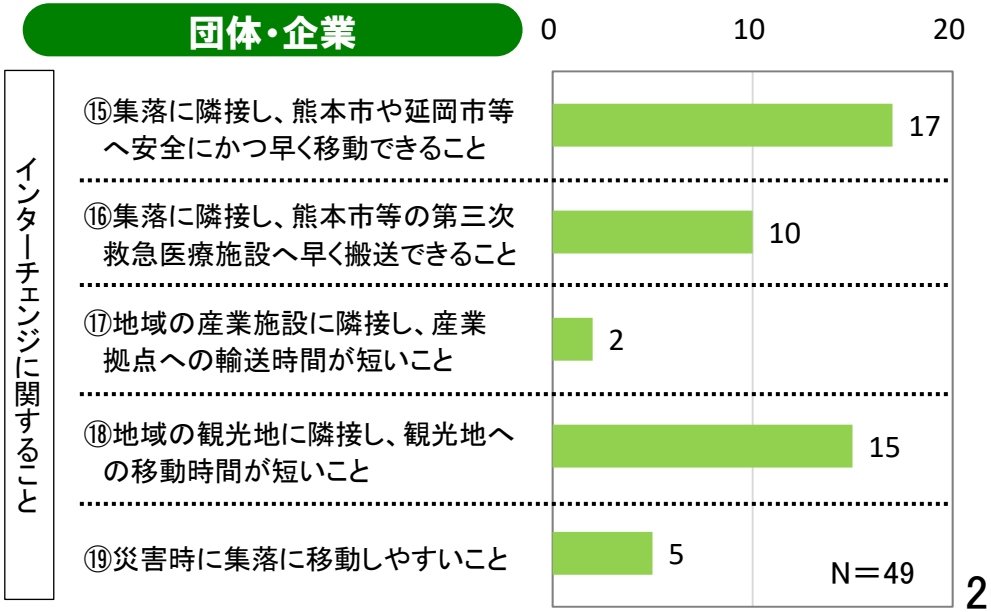
■自由意見のうち、インターチェンジに関連する重視すべき事項として、859意見が寄せられ、「⑮集落に隣接し、熊本市や延岡市等へ安全にかつ早く移動できること」「⑱地域の観光地に隣接し、観光地への移動時間が短いこと」に関する意見が多かった。



住民・広域的な道路利用者



団体・企業



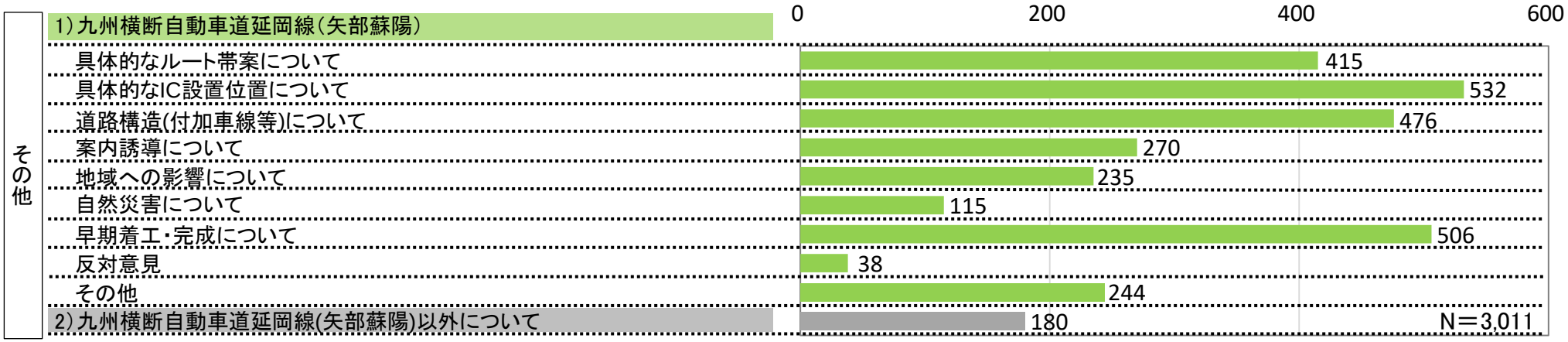
３－４．意見聴取で寄せられた自由意見＜（２）インターチェンジについて（重視すべき事項）＞

評価項目					自由意見
項目				評価指標　＜第2回意見聴取＞	
インターチェンジに関すること	暮らし	⑮	走行性の確保や安全性の向上による安心した暮らしの支援	集落に隣接し、熊本市や延岡市等へ安全にかつ早く移動できること	・スムーズな出入りが出来る、渋滞しないような工夫。事故等が起きないような見通しが良いこと（高千穂町/40代男性） ・上り下りがはっきり区別できるようなICでないといけない。特に事故に対する対策が必要（山都町/50代男性） ・延岡はインターチェンジの乗り入れ分岐がわかりにくいので、安心安全で乗り降りできるように（五ヶ瀬町/70代以上男性） ・集落及び行政施設に隣接していることが望ましいと思います。（山都町//70代以上女性） ・なるべく町（地域）の中心近く（熊本市/60代女性） ・とにかく周辺地域とアクセスしやすくしてほしい。（佐賀県鳥栖市/30代男性） ・清和地区にひとつあると良いのでは。下道でも15分なので多くを求めないが（八代市/40代男性） ・特に集落に隣接する必要はないが、安全に且つ早く緊急時に移動しやすいという点は重視すべき（高千穂町/公務） ・インターチェンジは清和の市街地に整備されると、山都町内のタクシー配車がしやすくなる。（熊本市/タクシー業）
	医療	⑯	速達性、走行性の向上による救急医療活動の支援	集落に隣接し、熊本市等の第三次救急医療施設へ早く搬送できること	・高速道路は命の道と言われるくらい重要と思います。早急に医療施設へ搬送できる位置に作って欲しい（高千穂町/60代男性） ・災害救急を見越し、ルート場又はインター付近にヘリポートと受け渡し（患者）場が整備されていることを望みます。救急（消防）面ではいろいろと要望があると聞きます。（山都町/40代男性） ・病院とのほどよい場所にインターがあるといいと考えます。（山都町/30代男性） ・命をつなぐ道でもあり、病院への移動時間が短くなると良い（高千穂町/60代男性） ・医療施設に隣接し、医療施設間の搬送が早くできること。（山都町/30代男性） ・ICは近隣の病院に近いところ（山都町/20代男性） ・山都町内が広いので、ある程度集落の近くにインターチェンジがないと管内の円滑な救急搬送に支障をきたす。（山都町/公務）
	物流	⑰	速達性、走行性、安全性の向上による産業の活性化支援	地域の産業施設に隣接し、産業拠点への輸送時間が短いこと	・九州の夏秋野菜主要産地として豊富な森林資源を流通させる清和地区にICが必要（山都町/70代以上男性） ・清和への移住者も増えている。若者も農業をするため戻って来てがんばっている。その人達を守るためにもインターチェンジは絶対に必要です（山都町/50代女性） ・立ち寄れるように清和にICを。農産物の輸送もしやすい（五ヶ瀬町/60代女性） ・東京・大阪方面に特産品を発送することも多くあります。清和のトマトを早く届けるために清和の中心部にインターチェンジを作ってください（山都町/70代以上女性）
	観光	⑱	速達性、定時性の確保による観光振興の支援	地域の観光地に隣接し、観光地への移動時間が短いこと	・道の駅に近いと利用価値が広がる（山都町/60代男性） ・清和文楽館にすぐ行ける場所が良い（山都町/70代以上女性） ・渋滞が発生しないような場所で観光地に直結しないと生活道路が混雑するため（高千穂町/40代男性） ・道の駅から利用しやすい所が（特産センター）良いと思う（五ヶ瀬町/20代男性） ・清和地区（文楽館周辺）にインターチェンジを造って、地域の発展につなげて（山都町/60代女性） ・地元だけでなく県外の方にも来町しやすくなるので非常に重要です（山都町/50代女性） ・清和文楽館に通じるインターチェンジを作り、清和文楽を県内外の沢山の方に来て頂き地元に経済効果をもたらしてほしいです。（山都町/50代男性） ・効率的な進路網を考えると、清和文楽付近にICが必要だと思います。（山都町/60代男性） ・インターチェンジの近くに観光地等の目的地が立地していると立ち寄る機会が増加し、町内の経済活性化という視点で良い影響があると思う。（山都町/製造業）
	防災	⑲	災害時に機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築	災害時に集落に移動しやすいこと	・町村ごとインターチェンジが必要だと思う。複数あったほうが災害があったときに便利だと思います（山都町/40代男性） ・安全なところに作ってほしい。災害時にも利用したい（高千穂町/70代以上男性） ・災害の多い時代なので、いつどこの集落が孤立してしまうかもしれないので重要と考えます（山都町/30代女性） ・インターチェンジについては、通行止にした時に起こりうる影響を考慮すべきと考える。（長時間待った場合の排気ガスやこれからの充電設備　トイレ等など）。（高千穂町/50代男性） ・災害時に集落に移動しやすい。（山都町/70代以上男性） ・自然災害に強い道路、災害時の避難や支援に寄与する道路が特に重要だと考えます。（福岡県福岡市/40代男性） ・災害時に機能することが特に重要。緊急時にすぐに高速道路を利用することができれば、避難路として機能すると思う。（高千穂町/建設業）

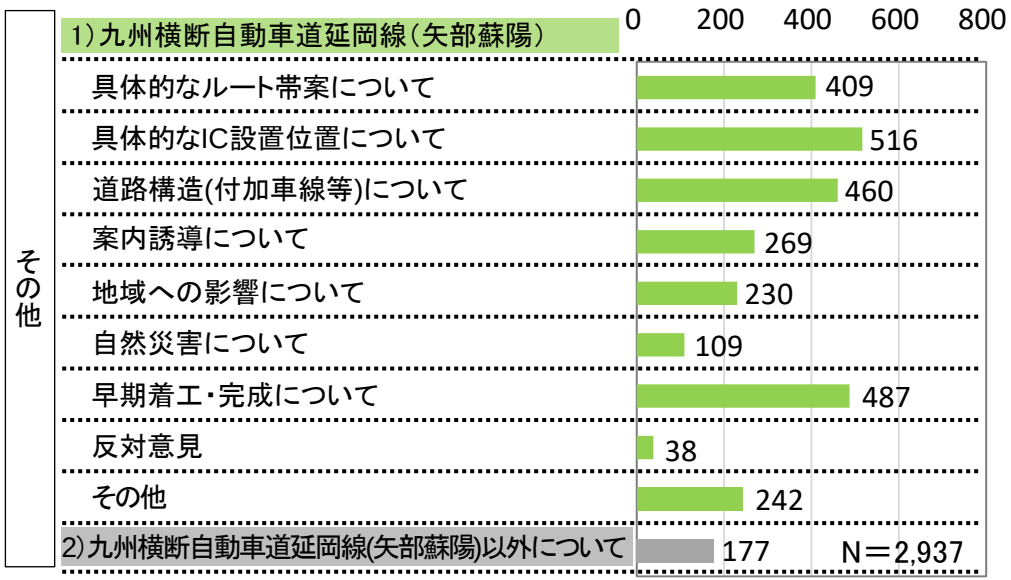
□：意見聴取で重視すべきとされている上位の項目

３－５．意見聴取で寄せられた自由意見＜（３）ルート帯案・インターチェンジ以外について＞

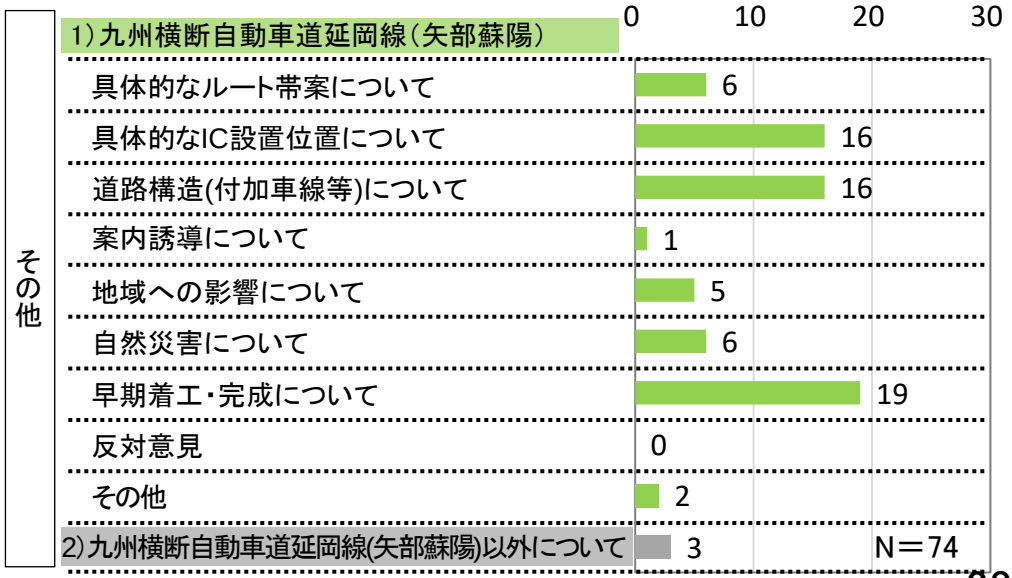
■自由意見のうち、ルート帯案、インターチェンジ以外の意見として、3,011意見が寄せられ、「具体的なIC設置位置について」「早期着工・完成について」に関する意見が多かった。



住民・広域的な道路利用者



団体・企業



３－５．意見聴取で寄せられた自由意見＜（３）ルート帯案・インターチェンジ以外について＞

項　目			自由意見
その他	九州横断自動車道延岡線（矢部蘇陽）	具体的なルート帯案について	・現道改良案だけはありえないと思います。お金もかかるし効果も少ない、良いとこなし。（山都町/40代男性） ・20年後の運転する人口はとても減っているので、高速ではなく案③現道改良案が良い（山都町/50代女性） ・案①の最短ルートでなく、案②でもよいのでとにかく、別線でつくってほしい（高千穂町/40代男性） ・案②が良い（鹿児島県/40代男性）
		具体的なIC設置位置について	・旧町村に1ヶ所（以上）インターチェンジは作って欲しい。（山都町/70代以上男性） ・全国から参拝される幣立神宮にサービスエリア、インターチェンジを必ず作るべし（山都町/50代男性） ・緊急時のためにスマートインターも考えてほしい（高千穂町/60代男性） ・矢部～蘇陽間に2ヶ所あれば十分。最小限、清和中心部に1ヶ所必要。（山都町/70代以上男性）
		道路構造(付加車線等)について	・ゆずり車線、追い越し車線はところどころにあったほうがスムーズに走行できると思う。（高千穂町/70代以上男性） ・緊急車両が通行できるように道幅を広くしてほしい（熊本市/30代女性） ・高齢者でも利用しやすいよう二車線の箇所を多く設けて欲しい（五ヶ瀬町/70代以上男性） ・追い越し車線を多く作ってもらいたい（（五ヶ瀬町/60代男性） ・なるべくトンネルを少なく、お願いします。（熊本市/50代男性） ・追越車線の設置。高齢には迷惑車となり走れません（山都町/70代以上男性） ・片側一車線になると思うが、登坂車線等の追い越しエリアを多くして欲しい（あおり対策）。（五ヶ瀬町/公務）
		案内誘導について	・進入方向などの標示がわかりやすく、見やすい様にしてほしい（高千穂町/50代女性） ・老人利用者が逆走できないような道路を考えて作ってほしい（山都町/70代以上男性） ・出口付近までスピードを出して事故車が多くいるのでスローダウン看板を手前に建てる（山都町/30代男性） ・混雑しない工夫、出入り口での事故が起きない工夫（高千穂町/40代男性）
		地域への影響について	・交通網の発達により地元の発展に寄与して欲しい。（熊本市/50代男性） ・出来上がってしまってから地元への影響を考えてほしい。特に商店など（山都町/60代男性） ・中山間地で企業がなく若者が余んど来ない。何より企業進出が望まれます。（山都町/60代男性）
		自然災害について	・冬は道路の凍結などの心配で行きたくても行けないときが出てくる（親）帰りたくても帰れない時がある（子供）（高千穂町/60代女性） ・冬の雪に対する備えを十分に立てていただきたい（山都町/60代男性） ・五ヶ瀬～山都町では積雪も多く、路面凍結も多い。路線が多くなると、整備が間に合うのか心配します。（五ヶ瀬町/30代男性） ・凍結しにくい道路にしてほしい（菊陽町/50代男性）
		早期着工・完成について	・早期完成できるように手段を国・県・町が一体となって考えていただきたい（山都町/40代男性） ・事業のスピードアップ（高齢者が元気なうちに開通してほしいものです）（高千穂町/70代以上男性） ・私達は高齢者夫婦です。一日も早い高速道路の整備を願う。開通した景色を見てみたいものです（五ヶ瀬町/70代以上女性） ・早くやろうよ。沿線住民は待ち焦がれている（宮崎県門川市/50代男性） ・早急に工事に取り掛かり、早期に工事を終えることが重要だ。（宮崎県宮崎市/50代男性） ・全線の開通を心待ちにしています（山都町/建設業）
		反対意見	・便利さばかり追求すべきではない、これ以上道路は必要とは思えない（山都町/30代女性） ・今のままで十分です。できるだけ山の伐採を少なくして、温暖化を防ぐこと（山都町/70代以上女性）
		その他	・蘇陽の竿渡村ノ滝が一望できるような場所がほしい（展望所）（山都町/40代男性） ・工事で使用した跡地の使い道も考える必要があると思います。（高千穂町/50代男性） ・とにかく認知度をあげるための告知が必要かと考えます。（福岡県/40代男性） ・風景・景観にも配慮してもらいたい（熊本市/70代以上女性）
	九州横断自動車道延岡線（矢部蘇陽）以外について		・農業している人は軽トラに乗ることが多く、高速を100kmで走っている人がいて怖い（五ヶ瀬町/60代女性） ・事故防止のため速度取締を強化してほしい。北中島IC～高山ICの間であおり運転が多い（山都町/60代男性） ・延岡～高千穂間で、路面の悪い所があり、これが自動車道と思うところがあります。（高千穂町/70代以上男性）

3－6. 自治体への意見聴取結果

■自治体への意見聴取結果【熊本県】

最重視すべき事項					意 見
ルート帯案に関すること	政策目標	暮らし	①	熊本市や延岡市等へ走りやすく事故の危険性が少ないこと	対象の区間は線形不良箇所が多いため、大型トラックの横転などの交通事故が発生している。また、並行する幹線道路がないため、事故の際の通行止めにより、救急搬送や住民生活に支障を来している。このため、走行性、安全性が高く、迂回路としても利用できるルート帯が望ましい。
		医療	②	熊本市内の第三次救急医療施設へ早く搬送できること	山都町の救急患者は熊本市内の第三次救急医療施設へ搬送されているため、長時間の搬送が患者の負担となっている。このため、救急医療施設への搬送時間の短縮が図られるルート帯が望ましい。
			③	熊本市内の第三次救急医療施設への救急搬送時に患者への負担が少ないこと	山都町の救急患者は熊本市内の第三次救急医療施設へ搬送されているが、線形不良個所が多く、搬送時の揺れが患者の負担となっている。このため、線形不良個所を回避でき、安静に搬送できるよう、救急医療施設への走行性を確保できるルート帯が望ましい。
		物流	④	沿線地域の産業施設から熊本市等の積み替え拠点への輸送時間が短いこと	山都町の主要な産業である、農業や林業の生産品の販路拡大や輸送コストの縮減につながるよう、積み替え施設や都市圏への移動時間の短縮が図られるルート帯が望ましい。
			⑤	沿線地域の産業施設から熊本市内の物流集積拠点への輸送時に痛みや荷崩れなどが少ないこと	対象の区間は線形不良箇所が多いため、輸送時の揺れによる品質低下を防ぎ、急カーブなどによる荷崩れや転倒を防ぐため、線形不良個所を回避でき、走行性、安全性を確保できるルート帯が望ましい。
		観光	⑥	観光地への移動時間が短いこと	山都町は通潤橋や蘇陽峡などの観光地を有し、阿蘇くじゅう国立公園や宮崎県の高千穂峡など日本を代表する観光資源に隣接しているため、観光地間の移動の速達性や定時性を確保し、隣接地域間の回遊性を向上させるなど、観光産業の支援に寄与するルート帯が望ましい。
		防災	⑦	災害時に国道218号等の代替路として利用できること	本県は熊本地震や令和2年7月豪雨を経験し、災害時に代替路として機能する幹線道路の必要性を再認識しており、災害時に度々通行止めが発生し、物資輸送等に支障を来している国道218号「矢部～蘇陽」間のダブルネットワークの確保のためにも、別ルートとして整備されることが望ましい。
	道路整備による影響	⑧		生活環境（騒音など）への影響が小さいこと	騒音や大気質等の生活環境に十分配慮し、影響が小さいルート帯が望ましい。
		⑨		自然環境（動植物が生息する田畑・山地など）への影響が小さいこと	自然環境（田畑・山地の改変など）に影響を与える可能性があるため、影響が小さいルート帯が望ましい。
		⑩		移転する家屋が少ないこと	家屋移転が多くなると地域コミュニティに影響を及ぼすことや、家屋移転に不測の時間を要する可能性があることから、家屋移転が可能な限り少ないルート帯が望ましい。
		⑪		沿道からの利用がしやすいこと	可能な限り沿線の集落や施設からのアクセスを考慮したルート帯が望ましい。
		⑫		施工時に現道の交通への影響が少なく、施工期間が短いこと	現道は地域で唯一の幹線道路であるため、地域住民の生活や広域的な物流に影響が少ないルート帯が望ましい。また、早期に事業効果が発現されるよう、施工期間が短いルート帯が望ましい。
		⑬		段階的な整備効果が望めること	計画区間が約15kmと長いため、中間インターチェンジを配置したうえで、部分的な開通等により、早期に事業効果を発揮することが可能なルート帯が望ましい。
		⑭		整備費用が安いこと	整備に要する費用については、可能な限り安価となるルート帯が望ましい。
インターチェンジに関すること	暮らし	⑮		集落に隣接し、熊本市や延岡市等へ安全にかつ早く移動できること	生活利便性の向上のために熊本市等へ速達性をもって移動できるよう、起終点のみならず中間地点付近の集落からも速やかにアクセスでき、事故や災害の危険性が少なくなる位置にインターチェンジを配置することが望ましい。
	医療	⑯		集落に隣接し、熊本市等の第三次救急医療施設へ早く搬送できること	高齢化が進む中山間地の救急医療活動の支援のため、起終点のみならず中間地点付近の集落からも速やかにアクセスでき、救急医療施設への搬送時間の短縮が図られる位置にインターチェンジを配置することが望ましい。
	物流	⑰		地域の産業施設に隣接し、産業拠点への輸送時間が短いこと	商品の品質保持や輸送効率の向上による地域産業の支援のため、産業拠点への輸送時間の短縮が図られる位置にインターチェンジを配置することが望ましい。
	観光	⑱		地域の観光地に隣接し、観光地への移動時間が短いこと	観光地間の移動の速達性や定時性を確保し、隣接地域間の回遊性を向上させるためにも観光地に隣接し、観光地への移動時間が短縮できる位置にインターチェンジを配置することが望ましい。
	防災	⑲		災害時に集落に移動しやすいこと	現道が被災した際にも救援・物資輸送機能を果たせるよう、指定避難所（山都町清和支所）からのアクセス性が高い位置が望ましい。
その他のご意見					九州中央自動車道（九州横断自動車道延岡線）は、全国的に頻発している大規模災害に対応できる「命の道」、また、九州全体の経済を支える「経済の道」、そして、沿線市町村の「地方創生の道」として、必要不可欠であるため、早期の事業化をお願いいたします。

3－6. 自治体への意見聴取結果

■自治体への意見聴取結果【宮崎県】

最重視すべき事項					意　見
ルート帯案に関すること	政策目標	暮らし	①	熊本市や延岡市等へ走りやすく事故の危険性が少ないこと	現道は、平面線形及び縦断線形の不良箇所が多数存在することから、平面・縦断線形が良好で走行性や安全性の向上が図られる整備が望ましい。
		医療	②	熊本市内の第三次救急医療施設へ早く搬送できること	現道は、平面線形及び縦断線形の不良箇所が多数存在することから、患者の負担が少なくなるよう、第三次救急医療施設までの移動時間短縮や搬送中の走行性の向上を図ることが望ましい。
			③	熊本市内の第三次救急医療施設への救急搬送時に患者への負担が少ないこと	現道は、平面線形及び縦断線形の不良箇所が多数存在することから、患者の負担が少なくなるよう、第三次救急医療施設までの移動時間短縮や搬送中の走行性の向上を図ることが望ましい。
		物流	④	沿線地域の産業施設から熊本市等の積み替え拠点への輸送時間が短いこと	生産性向上を図るためにも、積み替え拠点等への輸送時間短縮が図られるルート帯となることが望ましい。
			⑤	沿線地域の産業施設から熊本市内の物流集積拠点への輸送時に痛みや荷崩れなどが少ないこと	現道は、平面線形及び縦断線形の不良箇所が多数存在し、荷痛みによる品質低下や荷崩れ及び転倒に繋がる恐れがあることから、平面・縦断線形が良好で走行性が向上される整備が望ましい。
		観光	⑥	観光地への移動時間が短いこと	観光地としてポテンシャルが高い高千穂エリア等との隣接地域間との回遊性を高め、九州中央圏域の活性化を図るためにも、広域的に観光地を周遊できるよう、可能な限り、観光地間の移動時間の短縮が図られることが望ましい。
		防災	⑦	災害時に国道218号等の代替路として利用できること	今後発生が懸念される南海トラフ巨大地震等の大規模災害時に、九州東進作戦の重要な横軸となる国道218号が脆弱であることから、強靭で速達性のある代替ルートが確保（別線整備）されることが望ましい。
	道路整備による影響	⑧		生活環境（騒音など）への影響が小さいこと	騒音や振動などの生活環境が悪化しないことが望ましい。
		⑨		自然環境（動植物が生息する田畑・山地など）への影響が小さいこと	沿線は、自然豊かな地域であり、自然環境への影響が少ないことが望ましい。
		⑩		移転する家屋が少ないこと	家屋移転には時間を要すること、また、家屋移転により地域コミュニティに影響がある可能性があることなどから、家屋移転が可能な限り少ないことが望ましい。
		⑪		沿道からの利用がしやすいこと	沿線地域からのアクセスのいい位置に計画することが望ましい。
		⑫		施工時に現道の交通への影響が少なく、施工期間が短いこと	現道上の工事においては、切り回し等により地域環境に影響を及ぼす可能性があることから、現道上の交通への影響が少なく、施工期間が短くなることが望ましい。
		⑬		段階的な整備効果が望めること	九州中央自動車道整備の早期の効果発現のためにも、部分的な開通等ができる段階的な整備が望ましい。
		⑭		整備費用が安いこと	適切な道路構造とした上で、早期整備のためにも、整備費用が安価となることが望ましい。
インターチェンジに関すること	暮らし	⑮		集落に隣接し、熊本市や延岡市等へ安全にかつ早く移動できること	集落からの利便性が高まるよう、沿線地域からのアクセスのいい位置に計画すること望ましい。
	医療	⑯		集落に隣接し、熊本市等の第三次救急医療施設へ早く搬送できること	第三次救急医療施設まで患者を早く搬送できるよう、沿線地域からのアクセスのいい位置に計画することが望ましい。
	物流	⑰		地域の産業施設に隣接し、産業拠点への輸送時間が短いこと	地場産業振興のため、沿線地域からのアクセスのいい位置に計画することが望ましい。
	観光	⑱		地域の観光地に隣接し、観光地への移動時間が短いこと	観光地まで早く移動できるよう、沿線地域からのアクセスのいい位置に計画することが望ましい。
	防災	⑲		災害時に集落に移動しやすいこと	大規模災害時に人命救助や物資の輸送を円滑に行なえるよう、沿線地域からのアクセスのいい位置に計画することが望ましい。
その他のご意見					九州の東西軸を担う九州中央自動車道は、大規模災害時において人命救助や物資の輸送を支える「命の道」であるとともに、広域観光や地場産業の振興を通じ、九州の一体的浮揚にも繋がる重要な道路であり、早期整備が必要と考える。

３－６．自治体への意見聴取結果

■自治体への意見聴取結果【山都町】

最重視すべき事項					意　見
ルート帯案に関すること	政策目標	暮らし	①	熊本市や延岡市等へ走りやすく事故の危険性が少ないこと	国道２１８号は、山都町の東西を結ぶ唯一の国道であり、通勤に際し朝夕の利用者が大変多く、特に高校生の通学バイク通行時には注意すべき箇所がある。そのため、現道の安全性の確保が見込まれる別線の道路整備を望む。
		医療	②	熊本市内の第三次救急医療施設へ早く搬送できること	現在山都町の蘇陽病院（旧蘇陽地区）から熊本赤十字病院までの救急搬送を行う場合70分以上かかる。また宮崎県側の救急搬送も熊本市内の救急病院へ搬送されることも多く時間短縮できる道路の整備が早急に必要である。
			③	熊本市内の第三次救急医療施設への救急搬送時に患者への負担が少ないこと	熊本市内までの搬送について、現状は急カーブ・急勾配が多数存在し患者の症状によっては負担を考え大きな迂回が必要となることがあり、迅速な治療をうける際にも時間的負担となる。
		物流	④	沿線地域の産業施設から熊本市等の積み替え拠点への輸送時間が短いこと	山都町の基幹産業である農産物や木材の運搬について、運送業者が細心の注意を図りながら行われている。熊本の夏場の野菜（主にトマト、キャベツなど）は山都町と阿蘇郡での生産出荷が主力となるが、集荷場（JAなど）から積み替え拠点等の熊本市の市場等への輸送が短縮されることで、消費者との距離を縮め、安定かつ安全な運搬につながる。
			⑤	沿線地域の産業施設から熊本市内の物流集積拠点への輸送時に痛みや荷崩れなどが少ないこと	夏場メインの野菜であることから輸送時の傷みや荷崩れを最小限にするため、急カーブのある現道より、走行性が高い別線の道路整備を望む。
		観光	⑥	観光地への移動時間が短いこと	熊本都市圏や福岡からの観光客が阿蘇や高千穂といった観光地へのアクセスする際に活用される道路にもなっているが、道路状況が悪いため他ルートを選択する観光客もある。通潤橋や清和文楽、そよ風パークといった魅力ある観光資源が存在する本町へのアクセス性が良くなることにより阿蘇地域や高千穂地域を含めた近隣の観光地への周遊性も高くなると考える。
		防災	⑦	災害時に国道218号等の代替路として利用できること	現道218号は、熊本地震時（H28）に南阿蘇地域への物資搬送等に活用されたが、線形不良箇所も存在し、豪雨等による被災も発生していることから、別線整備により、災害時に信頼性の高い代替路や避難路が確保されることで、地域の安全性向上につながる。
	道路整備による影響	⑧		生活環境（騒音など）への影響が小さいこと	基本的に事業を行う上で対象となる地域住民への配慮は行っていくべき。
		⑨		自然環境（動植物が生息する田畑・山地など）への影響が小さいこと	山林や農地が多くあるため、自然環境への影響は、必要最小限にしていくべき。
		⑩		移転する家屋が少ないこと	必要最小限の家屋移転である事を望む。
		⑪		沿道からの利用がしやすいこと	インターチェンジを利用して、国道218号沿道の集落や公共施設、産業施設からアクセスしやすいことが望ましい。
		⑫		施工時に現道の交通への影響が少なく、施工期間が短いこと	施工期間は短期であるにこしたことはないが、施工面で安全性を配慮した道路であることが望ましい。
		⑬		段階的な整備効果が望めること	段階的な整備効果があった方が沿線住民の事業への理解が得られやすいと考える。全線開通へ向け段階的整備効果があった方が良いと考える。
		⑭		整備費用が安いこと	施工時の安全面や、後の管理面を考慮した時に必要な事業費はかけていくべきと考える。
インターチェンジに関すること	暮らし	⑮		集落に隣接し、熊本市や延岡市等へ安全にかつ早く移動できること	インターチェンジを設置をすることで、山都町を含む東側（延岡市方面）の沿線住民の移動効率と利便性向上が期待できる。
	医療	⑯		集落に隣接し、熊本市等の第三次救急医療施設へ早く搬送できること	医療救急面においては、沿線集落から利用しやすい位置にインターチェンジがあることで、時間効率的な搬送が可能となる。
	物流	⑰		地域の産業施設に隣接し、産業拠点への輸送時間が短いこと	地域の産業施設からのアクセスが向上することで、山都町農産物の輸送時間短縮により産地ブランド化の進展や、農家の収入増が期待できる。
	観光	⑱		地域の観光地に隣接し、観光地への移動時間が短いこと	町内の観光施設へのアクセスが向上することで、観光地としてより認知度が高まるきっかけになることが期待できる。
	防災	⑲		災害時に集落に移動しやすいこと	集落から安全にアクセスできる位置にインターチェンジがあれば、災害時の緊急輸送道路として大きく期待できる。そのうえで清和地区へのインターチェンジ配置があることが望ましい。
その他のご意見					沿線地域としては早期全線開通が悲願であるため、早期事業化を望むものである。

3－6. 自治体への意見聴取結果

■自治体への意見聴取結果【五ヶ瀬町】

最重視すべき事項					意　見
ルート帯案に関すること	政策目標	暮らし	①	熊本市や延岡市等へ走りやすく事故の危険性が少ないこと	線形不良個所では、車線を越えての事故が多数発生しており、中央分離帯が整備された自動車専用道路を別線整備することで、走行性・安全性の向上が期待できる。
		医療	②	熊本市内の第三次救急医療施設へ早く搬送できること	延岡市と熊本市とほぼ中心に位置する本町にとって、延岡市内だけでなく、熊本市内の第3次救急医療施設への搬送も選択肢として増えることで、速達性の確保が期待できる。
			③	熊本市内の第三次救急医療施設への救急搬送時に患者への負担が少ないこと	患者への負担の大きい線形不良個所や信号交差点を回避できる別線整備により、安静搬送の向上が期待できるとともに、万が一の際でも国道218号を併用した搬送により、速達性の確保も期待できる。
		物流	④	沿線地域の産業施設から熊本市等の積み替え拠点への輸送時間が短いこと	線形不良個所では、特に大型車の速度が遅くなり、人も物も移動に時間を要していることから、別線整備により移動時間の短縮が図れることで、速達性の確保が期待できる。また、延岡市と熊本市とほぼ中心に位置する本町にとって、物流拠点の進出も期待できる。
			⑤	沿線地域の産業施設から熊本市内の物流集積拠点への輸送時に痛みや荷崩れなどが少ないこと	別線整備により走行性、安全性が向上することで、木材の輸送時の運転手の負担を軽減できるほか、農産物や特用林産物等の輸送時の痛みをより少なく、また早く輸送できることで、商品価値の向上が期待できる。
		観光	⑥	観光地への移動時間が短いこと	移動時間の短縮により、多くの観光客が訪れる阿蘇や高千穂への観光客が余った時間を使い来町することができるなど、新規の観光客が見込まれ、観光客の増加が期待できる。
		防災	⑦	災害時に国道218号等の代替路として利用できること	国道218号沿線には急勾配の斜面が多くあり、過去の大雨や地震時には多数の災害が発生していることから、別線整備により災害時の物資の輸送路が確保されることで、地域の安全性の向上が期待できる。
	道路整備による影響	⑧		生活環境（騒音など）への影響が小さいこと	施工中の一時的なものは、住民の理解を得ることで許容できるものはあるが、供用後の影響については、最小限に留めることが望ましい。
		⑨		自然環境（動植物が生息する田畑・山地など）への影響が小さいこと	施工中、供用後ともに、自然環境への影響は、最小限に留めることが望ましい。
		⑩		移転する家屋が少ないこと	地域のコミュニティー維持のためにも、移転家屋は最小限に留めることが望ましい。
		⑪		沿道からの利用がしやすいこと	別線整備とした際でも、国道218号沿線の集落・施設等への影響を考慮し、アクセス性が高いことが望ましい。
		⑫		施工時に現道の交通への影響が少なく、施工期間が短いこと	国道218号及びその周辺道路の渋滞等を考慮すると、現道交通への影響はより少ない方が望ましく、また、施工期間を短くすることは現道交通への影響期間が短縮されると考える。
		⑬		段階的な整備効果が望めること	全線では事業期間が長期に及ぶことが想定されることから、部分供用するなど段階的に整備効果が発揮されることが望ましい。
		⑭		整備費用が安いこと	整備費用が安いことは、早期の整備完了が期待できるため望ましい。
インターチェンジに関すること	暮らし	⑮		集落に隣接し、熊本市や延岡市等へ安全にかつ早く移動できること	集落に隣接して設置することで、速達性の確保は期待できる。
	医療	⑯		集落に隣接し、熊本市等の第三次救急医療施設へ早く搬送できること	集落に隣接して設置することで、速達性の確保は期待できる。
	物流	⑰		地域の産業施設に隣接し、産業拠点への輸送時間が短いこと	インターチェンジの設置は、速達性が確保でき、地域の産業施設に隣接することは望ましい。
	観光	⑱		地域の観光地に隣接し、観光地への移動時間が短いこと	インターチェンジの設置は、速達性が確保でき、地域の観光地に隣接することは望ましい。
	防災	⑲		災害時に集落に移動しやすいこと	集落に隣接することで速達性の確保は期待でき、災害時においても緊急輸送道路として利用できることが望ましい。
その他のご意見					九州中央自動車道は、熊本と延岡を結ぶ重要な路線であり、全線開通により、人・物ともに大きく流れが変わると期待している。その中間地点となる五ヶ瀬町は、熊本も延岡もともに1時間圏域となるなど、物流等の拠点にもなり得る条件であることから、特に、その恩恵は大きいものであり、今後のまちづくりに大きな影響を及ぼすものである。 五ヶ瀬町民の多くが、病院、買い物などで熊本方面に向かっており、矢部～蘇陽間の開通は、熊本市周辺への通勤が可能となるなど、利便性が大きく向上するもので、若者の町外流出にも歯止めをかけられるとともに、移住者の増加にも寄与するものと考える。

３－６．自治体への意見聴取結果

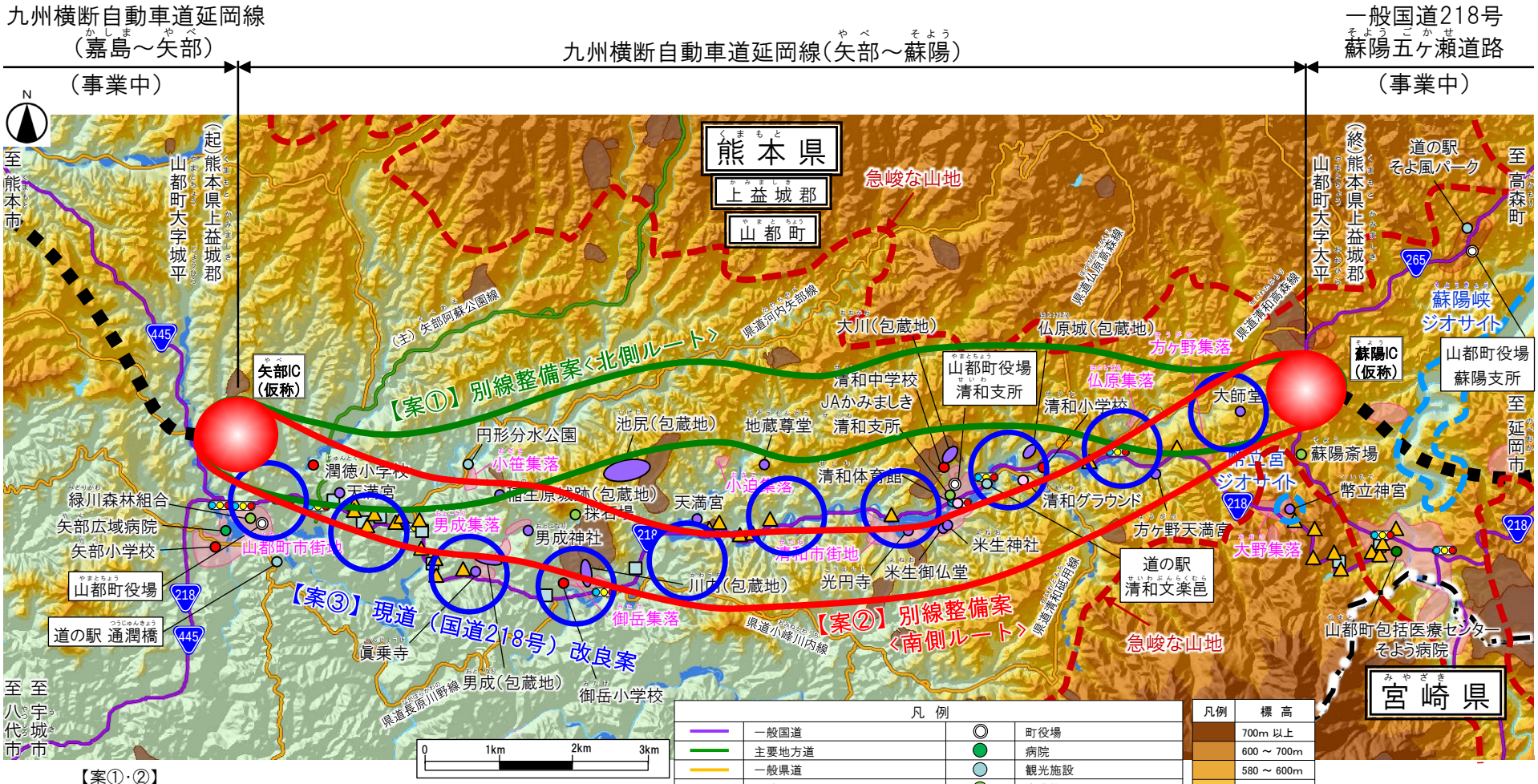
■自治体への意見聴取結果【高千穂町】

最重視すべき事項					意　見
ルート帯案に関すること	政策目標	暮らし	①	熊本市や延岡市等へ走りやすく事故の危険性が少ないこと	運転しやすさ。曲線半径が小さくならないルート選定や追い越し区間の適切な配置により、事故が少ない安全性の高い道路整備が必要。
		医療	②	熊本市内の第三次救急医療施設へ早く搬送できること	熊本市だけでなく、宮崎方面への救急搬送することもあるため、救急搬送時間の短縮は、患者の心身負担の軽減に繋がる。
			③	熊本市内の第三次救急医療施設への救急搬送時に患者への負担が少ないこと	運転しやすく、曲線半径が小さくない道路整備により、救急搬送時における患者への負担軽減に繋がる。
		物流	④	沿線地域の産業施設から熊本市等の積み替え拠点への輸送時間が短いこと	現道は線形不良箇所も多く、木材等の大型車による輸送に時間がかかっている。輸送時間の短縮されることで、物流の効率化に繋がる。
			⑤	沿線地域の産業施設から熊本市内の物流集積拠点への輸送時に痛みや荷崩れなどが少ないこと	農産物や木材等の輸送については、走行性に優れた道路整備により、短時間でかつ安全に輸送できることが必要。
		観光	⑥	観光地への移動時間が短いこと	観光地への移動時間短縮により、高千穂地域と阿蘇地域との周遊ルート等の構築により、県内外からの人流増加が期待できる。
		防災	⑦	災害時に国道218号等の代替路として利用できること	現国道沿いに主要施設があり、街並み形成も出来ているので、国道からのアクセス性の高い道路が災害時の避難や救援に繋がる。
	道路整備による影響	⑧		生活環境（騒音など）への影響が小さいこと	地域住民への影響が最小限となるような配慮が必要。
		⑨		自然環境（動植物が生息する田畑・山地など）への影響が小さいこと	自然環境への影響を極力小さくする配慮が必要。
		⑩		移転する家屋が少ないこと	著しく地域コミュニティを壊さないことへの配慮が必要。
		⑪		沿道からの利用がしやすいこと	産業施設や沿道の集落からの利用が便利となるような配慮が必要。
		⑫		施工時に現道の交通への影響が少なく、施工期間が短いこと	現道への影響は極力少なく、施工期間が短い方が望ましい。
		⑬		段階的な整備効果が望めること	部分的な供用開始ができ、早期に経済効果が出ることが望ましい。
		⑭		整備費用が安いこと	ルートによっては、コストのかかる構造物を配するのは、やむを得ない。
インターチェンジに関すること	暮らし	⑮		集落に隣接し、熊本市や延岡市等へ安全にかつ早く移動できること	地域の利便性向上のため、集落に近接するインターチェンジの設置が望ましい。
	医療	⑯		集落に隣接し、熊本市等の第三次救急医療施設へ早く搬送できること	熊本市等への速達性確保のため、集落からのアクセスに配慮が必要。
	物流	⑰		地域の産業施設に隣接し、産業拠点への輸送時間が短いこと	地域の産業振興のため、拠点となる施設からのアクセスに配慮が必要。
	観光	⑱		地域の観光地に隣接し、観光地への移動時間が短いこと	周遊の拠点となる位置に近い場所を選定するのが望ましい。
	防災	⑲		災害時に集落に移動しやすいこと	土砂災害が発生しやすい場所や危険個所を回避し、災害時に緊急輸送道路として活用できる位置への設置が望ましい。
その他のご意見					特になし

４．対応方針（案）の検討

4－1. 対応方針（案）の検討 ＜複数案の比較＞

・【案①】別線整備案<北側ルート> ：最短ルートを基本に全線別線で整備し、走行性、速達性の向上を図る案
・【案②】別線整備案<南側ルート> ：集落や産業施設にアクセスしながら全線別線で整備し、走行性、速達性の向上を図る案
・【案③】現道（国道218号）改良案：国道218号の線形不良箇所を改良し、走行性、速達性の向上を図る案



【案①・②】
※接続する道路は国道または県道を想定
※道路構造は、切土・盛土を基本とし、河川、国道等を跨ぐ区域は橋梁、標高が高い区域はトンネルを想定
【案③】
※道路構造は、山側への拡幅を基本とし、標高が高い区域の別線整備箇所はトンネルを想定

4－2. 対応方針（案）の検討 ＜複数案の比較＞

■比較評価の結果、意見聴取結果にて重要視されている全ての政策目標の達成が見込めるほか、道路整備による影響についても、他案より総合的に優れていることから、ルート帯案については、【案②】別線整備案（南側ルート）を対応方針（案）とする。

評価項目				【案①】別線整備案<北側ルート>		【案②】別線整備案<南側ルート>		【案③】現道（国道218号）改良案	
項目		評価指標		最短ルートを基本に全線別線で整備し、走行性、速達性の向上を図る案		集落や産業施設にアクセスしながら全線別線で整備し、走行性、速達性の向上を図る案		国道218号の線形不良箇所を改良し、走行性、速達性の向上を図る案	
				延長　約14ｋｍ 自動車専用道路タイプ （設計速度:80ｋｍ/ｈ）		延長　約15km 自動車専用道路タイプ （設計速度:80ｋｍ/ｈ）		延長　約16ｋｍ 一般道路タイプ （設計速度:60ｋｍ/ｈ）	
政策目標 暮らし	走行性の確保や安全性の向上による安心した暮らしの支援	①	現道（国道218号）の走行性、安全性	○	・別線整備により、線形不良箇所をすべて回避でき、**走行性、安全性の向上が見込まれる**	○	・別線整備により、線形不良箇所をすべて回避でき、**走行性、安全性の向上が見込まれる**	△	・現道の線形不良箇所を改良し、**走行性、安全性は向上するが、交差点が存在するため他案より劣る**
政策目標 医療	速達性、走行性の向上による救急医療活動の支援	②	沿線地域※1から熊本市内の第三次救急医療施設（済生会病院）への搬送時間	○	・第三次救急医療施設への**搬送時間の短縮が図られる**	○	・第三次救急医療施設への**搬送時間の短縮が図られる**	△	・第三次救急医療施設への**搬送時間の短縮が図られるが、案①、案②より劣る**
政策目標 医療	速達性、走行性の向上による救急医療活動の支援	③	沿線地域※2から熊本市内の第三次救急医療施設（済生会病院）への安静搬送（走行性）	△	・別線整備により、現道（国道218号）の線形不良箇所や信号交差点を回避でき、**安静搬送(走行性)の向上が見込まれる** ・国道218号から離れた位置を通過するためアクセス性が低く、**町道を経由した搬送となることから、安静搬送(走行性)は案②より劣る**	○	・別線整備により、現道（国道218号）の線形不良箇所や信号交差点を回避でき、**安静搬送(走行性)の向上が見込まれる** ・国道218号から近い位置を通過するためアクセス性が高く、国道218号から直接搬送できることから、**安静搬送(走行性)が向上する**	×	・現道（国道218号）の**線形不良箇所を回避するが、信号交差点は1箇所のみの回避となるため安静搬送(走行性)の向上は案①、案②より劣る**
政策目標 物流	速達性、走行性、安全性の向上による産業の活性化支援	④	沿線地域の産業施設※3から熊本市内の積替え拠点までの移動時間	△	・熊本方面への**移動時間の短縮が図られるが、案②より劣る**	○	・熊本方面への**移動時間の短縮が最も図られる**	△	・熊本方面への**移動時間の短縮が図られるが、案②より劣る**
政策目標 物流	速達性、走行性、安全性の向上による産業の活性化支援	⑤	沿線地域の産業施設※4から熊本市内の物流集積拠点までの走行性、安全性	○	・別線整備により、現道の線形不良箇所を回避でき、**走行性、安全性の向上が見込まれる**	○	・別線整備により、現道の線形不良箇所を回避でき、**走行性、安全性の向上が見込まれる**	△	・現道の線形不良箇所を改良し、**安全性は向上するが、交差点が存在するため走行性の面で案①、案②より劣る**
政策目標 観光	速達性、定時性の確保による観光振興の支援	⑥	熊本方面（嘉島JCT）から高千穂への移動時間	○	・熊本方面（嘉島JCT）から高千穂への**移動時間の短縮が図られる**	○	・熊本方面（嘉島JCT）から高千穂への**移動時間の短縮が図られる**	△	・熊本方面（嘉島JCT）から**高千穂への移動時間の短縮は図られるが、案①、案②より劣る**
政策目標 防災	災害時に機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築	⑦	災害時の代替路機能の確保	△	・**別線整備により代替路が確保される** ・国道218号から離れた位置を通過するため、**指定避難所(山都町清和支所)からのアクセス性が低い**	○	・**別線整備により代替路が確保される** ・国道218号から近い位置を通過するため、**指定避難所(山都町清和支所)からのアクセス性が高い**	×	・**現道利用のため代替路が確保されない**
道路整備による影響	生活環境	⑧	大気質、騒音等	○	・現道から最も離れた位置を通過するため、**生活環境（大気質、騒音、振動など）に影響を与える可能性は最も小さい**	△	・一部集落付近を通過するため、**生活環境（大気質、騒音、振動など）に影響を与える可能性は案③より小さい**	×	・現道周辺の集落付近を通過するため、**生活環境（大気質、騒音、振動など）に影響を与える可能性が大きい**
道路整備による影響	自然環境	⑨	動物の生息地、植物の生育地への影響	△	・別線整備により、地形改変を伴い、**動植物の生息地へ影響を与える可能性がある**	△	・別線整備により、地形改変を伴い、**動植物の生息地へ影響を与える可能性がある**	○	・現道改良のため地形改変は他案に比べて少なく、**動植物の生息地へ影響を与える可能性が低い**
道路整備による影響	集落への影響	⑩	移転が必要となる家屋等の数	○	・集落・市街地を概ね回避するため、**家屋の移転等は最も少ない**	△	・集落の周辺を通過するが、**案③に比べて移転数は少ない**	×	・沿道に隣接する家屋が多く、**移転数は最も多い**
道路整備による影響	沿道利用	⑪	周辺からのアクセス利用	×	・国道218号沿線の集落・施設等からの**アクセス性が低い**	△	・国道218号沿線の集落・施設等からの**アクセス性は高いが案③に劣る**	○	・国道218号沿線の集落・施設等からの**アクセス性が高い**
道路整備による影響	施工性	⑫	現道交通への影響、施工期間	△	・別線整備のため、**現道交通への影響は少ない** ・国道218号から離れた位置を通過するため、工事用進入路、仮設、仮橋設置などの**追加工事による施工期間が長くなる**	○	・別線整備のため、**現道交通への影響は少ない** ・国道218号から近い位置を通過するため、工事用進入路、仮設、仮橋設置などの**追加工事による施工期間は短くなる**	×	・現道交通を確保しながらの改良とするが、切り回しなどの影響で**現道交通への影響が生じる**
道路整備による影響	段階的な効果の発現	⑬	発現の時期	△	・部分的な開通が可能なため、**段階的に効果発現が見込まれる**	△	・部分的な開通が可能なため、**段階的に効果発現が見込まれる**	○	・現道を改良するため、**開通したところから効果発現が見込まれる**
道路整備による影響	コスト	⑭	整備に要する費用	×	約1,150～1,250億円	○	約950～1,050億円	△	約1,050～1,150億円

※1…沿線地域：山都町蘇陽支所
※2…沿線地域：案①～③の上段_山都町蘇陽支所、案①と案②の下段_山都町清和支所
※3…沿線地域の産業施設：JAかみましき清和支所
※4…沿線地域の産業施設：西臼杵森林組合（五ヶ瀬町）

意見聴取で重視すべきとされている上位の項目
他の案に比較し優位

比較表の内容は、現時点で想定される概ねのルート評価を一般的な目安として記載している。
（○:改善・満足する　△:一部改善・満足する　×:他案に比べ劣る）

4－3. 対応方針（案）の検討 ＜ルート帯案・インターチェンジの位置＞

【ルート帯案の考え方】
■熊本市方面や延岡市方面への走行性、安全性の向上、救急活動や産業活動における速達性や安静搬送の支援、災害時に国道218号等の代替路として機能する信頼性の高いネットワークの確保を図るとともに、沿道の集落や施設からのアクセス性、生活・自然環境及び施工性、コストに配慮したルート

【インターチェンジの位置の考え方】
■地域の意見を踏まえて、集落等に近接し、熊本市方面の市街地や第三次救急医療施設への連絡性、災害時の安全かつ円滑なアクセス性を確保

※接続する道路は国道または県道を想定
※道路構造は、切土・盛土を基本とし、河川、国道等を跨ぐ区域は橋梁、標高が高い区域はトンネルを想定

５．自治体への意見照会

５－１．自治体への意見照会＜対応方針（案）に対する自治体意見＞

■意見照会の回答（要旨）

	意　見
熊本県	1. 九州横断自動車道延岡線（矢部～蘇陽）における九州地方整備局としての対応方針（素案）に同意します。 2. 九州横断自動車道延岡線は、九州の横軸として、熊本県のみならず九州全体の産業や地域の活性化、観光振興に資する路線であり、九州の一体的な発展を図るためには、ミッシングリンクの解消が必要であることから、全線の早期整備に向けて特段のご配慮をお願いします。 3. また、本県は熊本地震や令和2年7月豪雨を経験し、災害時に代替路として機能する幹線道路の必要性を改めて実感したところであり、南海トラフ地震をはじめとする大規模災害に備えた支援・受援体制を構築するうえでも、九州の東西を結ぶ本路線の整備によるダブルネットワークの確保が必要不可欠であるため、県内で唯一の未事業化区間である矢部～蘇陽間の早期事業化を強く望みます。 4. さらに、本路線の沿線地域においても、「命の道」「経済の道」「地方創生の道」として、重要な役割を担う道路であることから、地元の意見を踏まえた事業計画となる様に配慮して頂くとともに、ICの検討においては東西の円滑なアクセスのために国道218号との接続についてもご配慮をお願いします。 5. なお、本県としても、事業化に向けて様々な調査や事業進捗に必要な協力をしていく考えです。

■意見照会の回答（熊本県知事）

道整第１４６号
令和４年（２０２２年）１月１４日

国土交通省
九州地方整備局長　藤巻　浩之　様

熊本県知事　蒲島　郁夫
（公　印　省　略）

道路事業の計画段階評価に係る意見照会について（回答）

令和４年（２０２２年）１月１３日付け国九整道一計第４５号で意見照会のありましたこのことについて、下記のとおり回答します。

記

九州横断自動車道延岡線（矢部～蘇陽）における九州地方整備局としての対応方針（素案）に同意します。

九州横断自動車道延岡線は、九州の横軸として、熊本県のみならず九州全体の産業や地域の活性化、観光振興に資する路線であり、九州の一体的な発展を図るためには、ミッシングリンクの解消が必要であることから、全線の早期整備に向けて特段のご配慮をお願いします。

また、本県は熊本地震や令和２年７月豪雨を経験し、災害時に代替路として機能する幹線道路の必要性を改めて実感したところであり、南海トラフ地震をはじめとする大規模災害に備えた支援・受援体制を構築するうえでも、九州の東西を結ぶ本路線の整備によるダブルネットワークの確保が必要不可欠であるため、県内で唯一の未事業化区間である矢部～蘇陽間の早期事業化を強く望みます。

さらに、本路線の沿線地域においても、「命の道」「経済の道」「地方創生の道」として、重要な役割を担う道路であることから、地元の意見を踏まえた事業計画となる様に配慮して頂くとともに、IC の検討においては東西の円滑なアクセスのために国道２１８号との接続についてもご配慮をお願いします。

なお、本県としても、事業化に向けて様々な調査や事業進捗に必要な協力をしていく考えです。

６．対応方針（案）まとめ

６－１．対応方針（案）まとめ

１．道路整備の必要性

【理由】

政策目標を**実現できる道路整備を検討**

【政策目標】

◇走行性の確保や安全性の向上による安心した暮らしの支援

◇速達性、走行性の向上による救急医療活動の支援

◇速達性、走行性、安全性の向上による産業の活性化支援

◇速達性、定時性の確保による観光振興の支援

◇災害時に機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築

○対象地域は、国道218号利用時の安全性・走行性、熊本市や延岡市への速達性が低いとともに、国道218号等の災害による通行止めが課題であり、山都・五ヶ瀬・高千穂地域から熊本市・延岡市等への速達性・走行性等の確保による暮らし、救急・産業活動、観光振興の支援、及び災害時の代替路として機能する道路の整備が必要。

○住民アンケートや団体・企業ヒアリングにおいても、山都・五ヶ瀬・高千穂地域から熊本市・延岡市等への走行性の向上、熊本市内への第三次救急医療施設への速達性・走行性の向上、及び災害時の代替路が必要という意見が多く、このような政策目標を実現できる道路が望まれている。

２．対応方針（案）

（1）ルート帯案について

『［案②］別線整備案（南側ルート）』を対応方針（案）とする。

【 理 由 】

○政策目標に関して、『【案①】別線整備案（北側ルート）』及び『【案②】別線整備案（南側ルート）』は『【案③】現道（国道218号）改良案』と比べて、政策目標の達成が見込まれる。

更に、地域の意見聴取で重視すべきとの回答がいずれの項目についても7割以上であり、中でも重視すべきとの回答が9割以上と非常に高かった、「②熊本市内の第三次救急医療施設へ早く搬送できること」、「①熊本市や延岡市等へ走りやすく事故の危険性が少ないこと」、「⑦災害時に国道218号等の代替路として利用できること」、「③熊本市内の第三次救急医療施設への救急搬送時に患者への負担が少ないこと」の項目について、【案②】は他案より優れており、地域のニーズに最も応えられている。

○道路整備による影響に関して、地域の意見聴取において重視すべきとの回答がいずれの項目についても概ね7割以上であり、【案②】は相対的に他案より優れており、地域のニーズに応えられている。

○自治体からも政策目標の達成が見込まれ、他案に比べて道路整備による影響も小さい【案②】を望む意見が挙げられている。

○比較評価の結果、【案②】は地域等からの意見聴取結果にて重要視されている政策目標の達成が見込まれるほか、道路整備による影響についても、他案より総合的に優れている。

（2）インターチェンジについて

熊本市方面の第三次救急医療施設や市街地へのアクセス性に配慮し、集落に近接する位置へ配置する。

また、浸水や土砂災害による通行止め時における災害時の安全かつ円滑なアクセス性を考慮して、集落や避難施設に近接する位置へ配置する。

【 理 由 】

○地域の意見聴取において、「⑯集落に近接し、熊本市等の第三次救急医療施設へ早く搬送できること」、「⑲災害時に集落に移動しやすいこと」、「⑮集落に隣接し、熊本市や延岡市等へ安全にかつ早く移動できること」の項目について、重視すべきとの回答が9割以上と非常に多かった。

３．その他（配慮すべき事項等）

○詳細なルート・構造の検討にあたっては、生活・自然環境や家屋への影響をできる限り少なくし、既存道路状況や沿道利用状況踏まえながら、段階的な整備効果の発現やコスト縮減に留意した検討を行うとともに、新たに整備される道路と既存の道路の接続方法について、各関係自治体と調整を行う。

6－1. 対応方針（案）まとめ

集落や産業施設にアクセスしながら全線別線で整備し、走行性・速達性の向上を図る【案②】別線整備案（南側ルート）とする。

※接続する道路は国道を想定
※道路構造は、切土・盛土を基本とし、河川、国道等を跨ぐ区域は橋梁、標高が高い区域はトンネルを想定